基本設計図

		頁番号	中タイトル	図面番号	図面タイトル				頁番号	中タイトル	図面番号	図面タイトル
Α	特記仕様書	1		A1	建築工事特記仕様 01		F	展開図	33		F21	展開図21
		2		A2	建築工事特記仕様 02		G	電気設備図	34	照明配灯図	G1	2階 照明配灯図
		3		A3	建築工事特記仕様 03				35		G2	3階 照明配灯図
		4		A4	建築工事特記仕様 04				36	照明器具リスト	G3	照明器具リスト1
		5		A5	建築工事特記仕様 05				37		G4	照明器具リスト2
В	面積表	6		B1	面積表				38		G5	照明器具リスト3
С	仕上表	7		C1	仕上表2階				39	照度分布図	G6	2階 照度分布図
		8		C2	仕上表3階				40		G7	3階 照度分布図
	敷地配置図	9		D1	配置平面図				41	コンセントプロット図	G8	2階 コンセントプロット図
E	平面図	10		E1	2階 平面図				42		G9	3階 コンセントプロット図
		11		E2	3階 平面図				43	防犯計画	G10	2階 防犯カメラ配置図
		12		E3	3階 吹抜天井補足図				44		G11	3階 防犯カメラ配置図
F	展開図	13		F1	展開図1		Н	機械設備図	45		H1	2階 空調換気設備キープラン
		14		F2	展開図2				46		H2	3階 空調換気設備キープラン
		15		F3	展開図3				47		Н3	空調換気設備諸元表1
		16		F4	展開図4				48		H4	空調換気設備諸元表2
		17		F5	展開図5							
		18		F6	展開図6							
		19		F7	展開図7							
		20		F8	展開図8							
		21		F9	展開図9							
		22		F10	展開図10							
		23		F11	展開図11							
		24		F12	展開図12							
		25		F13	展開図13							
		26		F14	展開図14							
		27		F15	展開図15							
		28		F16	展開図16	1						
		29		F17	展開図17							
		30		F18	展開図18	1						
		31		F19	展開図19							
		32		F20	展開図20							

A. 特記仕様書

	2章 仮設工事		9章 防水工事	7節 シーリンク	<i>i</i>	3節 防腐・防蟻・	防虫処理
1節 一般事項 ■ 2.1.3 追 仮設計画図	a) 工事着手前に下記事項について調査の上、調査結果を仮設計画書に 反映し監理者に提出すること。 ※ 区画内A工事完了状況 ※ 工事用電力、給排水設備等計画図 ※ 楊重設備及び工事用機械機器 ※ 災害防止設備その他 ・ 敷地の地盤状況調査 ・ その他関連事項 ()	1節 一般事項 ■ 9.1.3 施工一般 2節 アスファル ■ 9.2.2	a) 防水工事・シーリング工事は専門業者による責任施工とし、受注者と専門業者の連帯責任として連名にて、保証に関する資料を監理者に提出すること。 b) アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水・塗膜防水・クイ酸質系塗布防水等の保証期間は、引渡し日より10年間とする。 c) 水張り試験 ② 実施する ・実施しない ② 24時間 ・ 48時間 ・ 48時間 ・ 水張り試験の範囲 (トイーレ廻り・授乳室廻り)	_ ■ 9. 7. 2 材料 	a) シーリング 材の種別・適用等 ※下記による ・設計図による	防腐・防蟻処理 防虫処理	a) 木材保存剤の種類・品質 ・ 日本木材保存協会認定品 ・ その他施工箇所 () ※施工箇所は上記指定がない場合、土間コンウリート・ 床スラプ上の土台、ころばし大引、ころばし根太及びその他のコンウリートに接する部分の全面とする。 b) 防蟻処理剤の種類・品質 ・ 監理者との協議による ・ その他施工箇所 () ※ 白あり危険区域については、本工事内で対策を施すこと。 c) 防腐・防蟻処理剤は、建基法・化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律・薬事法などの各種関連する法律で使用が禁止されている化学物質を含まないものを採用すること。
□ エ事用電力水道 □ 2.2.4 □ 2.2.5 □ 3節 仮散物 □ 2.3.1 □ 2.3.1 □ 2.3.1 □ 2.3.1 □ 2.3.1 □ 2.3.1 □ 2.3.1	a) 工事用電力及び工事用上下水道について構内既存施設の利用可否は事前に受注者にて調査の上、確認を行うこと。 a) 仮囲い ※ 設ける ・ 設けない b) 仮囲いの範囲 ・ 図示 ・ 監理者と協議の上決定する c) 仮囲いの仕様 ・ 標準型、鋼板塗装仕上、高さ3m内外 ・ デザインシート貼り (m× m程息)・ その他() a) ローリングタワー6台 b) 高所作業車(タイヤ)6台 a) 監理事務所の設置 ・ 設ける ② 設けない b) 監理事務所の規模 ・ 10㎡程度 ・ 20㎡程度 ・ 35㎡程度 ・ 50㎡程度 ・ 65㎡程度 ・ 80㎡程度 ・ 100㎡程度 ・ 上記の他に会議室(50㎡程度 ・ 100㎡程度)・ 上記の他に休憩室、更太室(10㎡程度)・ 上記の他に休憩室、更太室(10㎡程度)・ 上記の他に休憩室、更太室(10㎡程度)・ 上記の他に休憩室、運査室(10㎡程度)・ 上記の他に、一般に、給湯室 (請負者等と共用で可)・ 上記の他に、WC、給湯室 (請負者等と共用で可) d) 諸設備を含む監理事務所の光熱水料・回線使用料・消耗品・清掃費用等の維持費及び工事監理に必要な備品(監理関係図書を含む)の費用は工事費に含むものとする。尚、備品の数量は監理者の指示による。 e) 工事名称等の表示 ・ あり ② なし	- 9.2.3 材料 防水層の種類 種別及び工程	A-1	■ 9.7.3	**リ塩化 t'ル 1/37	表面仕上げ 14.2.3 鉄鋼の亜鉛メッキ	14章 金属工事
4節 仮設物撤去 ₹ ■ 2.4.2 追 警 備	1)上記「あり」の場合は仮囲・外部足場外面に関係法令に定める掲示板他、監理者の指示する工事名称・発注者・設計監理事務所等の表示を設ける。	■ 9.2.5 保護層等の施工	工法に用いる断熱材 材質 ※ 硬質ボリウレクンフォーム保温板2種2号適合品 f) 脱気装置 ※ 設ける (※ 約75㎡に1箇所 ・ 図示) ・ 設けない a) 屋上防水保護層には立上り表面仕上げから300mm内外の位置、縦横間隔3m程度に平場・立上り共に幅25mmの伸縮調整目地を設ける。 b) 機械基礎の天端の防水 ※ 行う (※ 塗膜防水)	シーリング材の目地寸法	a) 設計図他に特記なき限りシーリング・寸法は標任 [9.7.3] の目地寸法により、それ以外は監理者と協議の上、決定すること。 b) コングリート打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地は幅20mm×深さ10mm以上とする。 c) ガラス周りの目地は幅5mm×深さ5mm以上とする。 d) 上記以外の箇所の目地は幅10m×深さ10mm以上とする。	■ 14.4.2 アルミニウム、 アルミニウム合 金の表面処理	a) 7ルミニウム合金等の表面処理の種別・適用等 ※ 下記による ・ 設計図による 表面処理の種別 皮膜種類 着色・塗装種類 色合等 施工箇所等 ※ AA15 無着色陽極酸化被膜 ・ AA20 ※ るのででは、 ※ AA20 ※ 電解着色被膜 (二次電解着色) ・ ステンカラー
8章 コンク 2節 補強コンク! ■ 8.2.2 材料	リートブロック・ALC パネル・押出成形セメント板工事 Jートブロック造 a) 補強コンウリートプロックの種別・適用等 ※ 下記による ・設計図による 種別 厚さ (mm) 施工箇所 ※ 16(C種 普通ブロック ・ 140 ○ 150 ・ 190 ※ 図示 ・ 16(C種) 防水ブロック ・ 140 ・ 150 ・ 190 ※ 図示	ハッチ部 3節 改質アスフ ■ 9.3.2 ~ 9.3.3 材料 防水層の種類 種別及び工程	・行わない **** *** *** ** ** ** ** ** ** ** **	2節 材料 ■ 1 2 · 2 · 1 木材の品質	12章 木工事		a) 野縁等の種類は屋内は標仕[表14.4.1]による19形、屋外は25形とする。 b) 塩害の恐れのある地域の軒天・キャノピ-下地、天井裏に外気が流入する部位 ブール・浴室・脱衣室等の湿気が多い室の天井下地は、吊りポルト共に高耐食 仕様(ステンレスSUS304製)とする。 a) 屋外の高所に使用する箇所、軒天井・ピロティ天井・キャノピー天井等は耐風圧強
3節 ALC ■ 8.2.3	a) XAO2通り、壁ALC開口 (Bエ事) は、 縦材としてL-90×90×7をALC上端~下端とし、 横材としてL-65×65×6を縦材間に設置とする。 市 市民部 市民活動支援課	種別及び工程	S-F2 (塩に 機脈系) 接着 ※ 2.0 ※歩行 ・非歩行 ※ 図示	図面名称	用する。 1) 原則としてラワン材は使用しないこと。 2) 下地材 : 米栂1等 3) 出入口枠 : 米栂上小節(吊元米ひば上小節) 4) 浴室出入口枠 : 米砂ば上小節、窓額縁:米栂無節。 5) 和室造作材 : 米栂無節・スプルス 建築特記仕様書(1)	工法	度計算を行い監理者の承認を得て、耐風圧仕様の補強を施すこと。 b) 振動・騒音発生室(居室直下の機械室等)には防震吊りがいた使用すること。 c) 居室直下が外気に面する箇所では必ず二重天井とすること。 d) 天井ふところが1.5m以上の場合は[標性14.4.4]に準じて補強を行い、3mを超える場合の補強は設計図による。 e) 切断、加工面、溶接箇所の後処理(防錆防腐処理)は完全に行うこと。

☐ 14.4.5	はてうにもり 地帯はる基準の人様とかにして共ぶ以先しむいものしまく	4節 セルフレベリ		4節 鋼製建具		8節 建具用金物	
特定天井	る。 1) 該当する天井 ※ 設計図による 2) 該当する特定天井の面積 ※ 設計図による 3) 構造方法 ・ 仕様ルートによる		a) 種別 ・せっこう系 ※ セメント系 b) 塗厚 ※ 10mm ・ mm OAフロア範囲とする。	■ 1 6.4.2 性能及び構造	a) 簡易気密型ド7の適用 ○ 適用する (※ A-3・W-1 ○ その他) ・ 適用しない b) 外部に面する建具の性能 ※ 下記による ・ 設計図による	■ 16.8.2 材質、形状 及び寸法	a) 建具金物の種類 及び見掛り部の材質 ※ 標仕[表16.8.1]による (適用は図示) ・ 設計図による
	・計算ルートによる ・ 水平震度法 ・ 応答スペウトル法 ・ 補易スペウトル法 ・ 大臣認定ルート 4) 設計用地震力 ※ Kn=(1.8)、Kv=(0.5)、組合せ=Kn(1.0) +Kv(0.5)	1節一般事項	16章 建具工事	-	・その他() ※標仕[表16.2.1]による 2)防音建具の遮音性能・T-1 ()・T-2 () ・T-3 ()・T-4 ()	ı	a) 開き扉には原則として床付戸当たりを設け、ドアーチェックは設計図に記載なき 限り、全て室内側に取付けるものとする。 b) 原則としてフロアヒンジ・ピポットヒンジは外部雨掛りの戸には使用しない。
	5) ウリアランス 終設計図による ・60mm以上 () mm 6) 吊り長さ ※設計図による () mm 7) 天井板の重量 ※材料の単位面積質量 () kg/㎡ 8) 天纤下地材 ※製造者の仕様による 8) 間仕切り等 ※対象間仕切は図示により、間仕切り製造者の仕		a) 防火戸の指定 ※ 特定防火設備・防火設備の種別は設計圏による。 b) 自動閉鎖機構及び防火戸の連動 ※ ヒューズ装置 ・ 熱感知器 ・ 煙感知器 c) 特記なき限り常閉防火戸の閉鎖装置は/ンストップクローザーとする。		3) 断熱建具の断熱性能 ・ H-1 (c) 建具金物を取り付ける箇所は裏面に補強板を設ける。 d) 水掛り及び外気に面する建具金物はステンレスとし、丁番の切欠き部分は十分 な止水処理を施す。 e) 鋼製建具は全てドアーチェック付とし、ドアーチェック無しの扉はオートヒンジ付とする。 但し、外部に面するドアにはオートヒンジを使用しないこと。 f) 電気錠_非常開閉装置付き本締錠・スイッチストライク・マグネットスイッチ設置の場合は
	様による全質量の1/2の自重を見込む () kg/㎡ 10)その他 対象の設備機器等は下記とし詳細は設備設計図による。 ※ 天井に固定する照明器具		両開き戸の場合、召合わせはスプリングによる遮断金物付とする。 が 特記なき限り常開防火戸は煙感知器・熱感知器・温度ヒューズ等と連動閉鎖 すること。両開き戸の場合、召合わせはスプリングによる遮断金物付としパリ アフリー対策としてくぐり戸は跨ぎなしとする。	■ 1 6. 4. 4 形状及び仕上げ	a) ステンレス沓摺	■ 16.8.4	通電金具一式を見込むこと。 g) ドアガラリは全て山型ガラリとする。
5節 軽量鉄骨壁 ■ 14.5.3	※ 天井に固定する空調吹出し口、吸込み口等		a) 建具見本の製作 ※ 製作しない ・ 製作する 製作箇所 () b) 特殊な建具の仮組 ※ 行わない		c) 原則としてPAT仕様ドアはグレモン錠とし建具内にグラスウール等を充填して遮音。 尚、PAT、SAT仕様の適用は設計図による。 d) 隣接建物に面する機械室及び建物内機械室等のガラリは全て消音チャンバー付と	鍵 は	a) グランドマスターキー ※ 製作する (※3枚) ② 製作しないb) マスターキー ※ 製作する (※3枚 ・6枚) ・製作しないc) オフィスセキュリティ 1) フラッパーゲート設置 ・有り ③ 無し 2) セキュリティ連動ヒソ不停止対応 ・有り ③ 無し
■ 14.5.3 形式及び寸法	2) スタッド高さ5m以上の場合 ※ 鉄骨等にて補強 (詳細は図示)	■ 16.1.6	・行う 実施箇所 ()a) 性能確認試験 ※ 行わない	5節 鋼製軽量建	"し、延焼部分においては防火ダンパーを併設すること。		3) カードリーダー設置 ・有り ⊙無し d) オートロック ・ 有り ⊙無し e) 錠の付加仕様 ・ 有り ・ 切が - シンプルシリンダー錠 ・ ディンプルキー
8節 手摺及びタ	・ その他 () b) 原則として外壁壁下地として使用してはならない。		 ・行う 実施箇所 () 1) 試験の種類 ・ 耐風圧 ・ 耐震 ・ 水密 ・ 気密 ・ 遮音 2) 試験体の製作 ※製作しない・ 製作箇所 () b) 防犯建物部品 ※使用しない・ 使用する (設計図による) 	■ 1 6.5.2 性能及び構造		9節 自動ドア開閉¥ ■ 16.9.2	⊙ その他 (事業主協議による)・無し接置
■ 14.8.2 手摺	a) 金属製手摺の種別・形状・材種・適用等 ※ 下記による ○ 設計図による 施工箇所 材料の種別 表面処理 形状等 ・廊下-1 ○ 木製 ○ ウレタン塗装20 ※ 形状は図示 ・廊下-2 ・ メチール		c) ドプ(ドプ・引戸・錠等)、窓(サッ・ガス・バル等)、メッチ・(十両・軽量・メイッ末・サス等)の性能については、原則的に「防犯性能の高い建物部品目録(平成16年4月公表・CPマーケ)」の製品を各品目の付帯条件下で使用した防犯性能以上とすること。 d) 一枚戸及び折り戸で面積が3㎡を超える場合は骨組・金物・取付の安全性		* T-3 () * T-4 () 3) 断熱建具の断熱性能 * H-1 () * H-2 () H-3 () * H-4 () H-5 ()	性能 16.9.3	多機能トイレ出入り口に設置される引戸用駆動装置の性能値は特記による。特部なき場合は、表16.9.2による。 a) 自動ドアの開閉方式・仕様・適用等 ※下記による ・設計図による 開閉方式 センサーの種類 施工筒所等
	・ 7ルド既製品 ・ 畳ベンチ ○ 木製 ○ ウレタン塗装20 ¼※ 形状は図示 ・ スチール ・ 7ルド既製品	2節 アルミニウム	を計算により確認し、監理者の承認を受ける。 製建具	■ 16.5.3 ~ 16.5.5	の追随性等級 • D-3 () a) 鋼板種別 • 溶融亜鉛メッキ鋼板 • 電気亜鉛メッキ鋼板		加州万式
	・廊下-3 ○ 木製 ○ ウレタン塗装20 A※ 形状は図示 (スローブ・階段 ・ ステール ・ アルミ既製品) り 手摺・手摺支柱は下表の荷重に対して安全であること。	性能及び構造	a) 外部に面するアルミーウム製建具の性能・適用等 ※ 下記による・設計図による 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込 施工箇所等 ・ A種 S-4 A-3 W-4 70mm ※ 図示 ・ B種 S-5 ・ C種 S-6 A-4 W-5 100mm ※ 図示	材料 形状及び仕上げ 工法	・ ピニル被覆鋼板 ○ カラー鋼板 b) 召合せ・縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミ合金押出型材 a) ステンレス沓摺 ○ 板曲げ (・ t = 2.0 ※ t = 1.5) ※ HL仕上 ・ SUS FB (※ t = 6.0) ※ HL仕上		b) 補助機構 ・ 安全用光電スイッチ ・ 全半開機構 ・ パニックオープン機構 c) 寒冷地での凍結防止対策 ※ 行わない ・ 行う d) 防災センターが設置される場合は、オートト゚ア・電気錠設置扉は防災センターよ り強制開放・閉鎖の指令に対応できること。
	荷重 (kg f/m) たわみ量等 施工箇所/手摺種別・用途等 ・300 ・1/150以下・10mm以下 ・200 ・150		・その他 S-7 W-6 ※ 図示 1) 防音建具の遮音性能 ・ T-1 () ・ T-2 ()	6節 ステンレス		■ 16.9.5 追 安全対策等	a) 自動作動設備等(オートト・ア・自動回転扉・シャッター等)で人体に対して衝撃力を与 え得る装置については、メーカー及び施工者は安全基準を遵守する。尚、起こり 得る危険の発生度合いと安全対策の仕様・費用についての説明を監理者に 対して十分に行い監理者を通じて発注者の了解を得ること。
	c) 手摺取付用下地(木製・LGS等)は石膏ボード類の裏側に設置すること。		・ T-3 ()・ T-4 () 2) 断熱建具の断熱性能 ・ H-1 ()・ H-2 ()	■ 16.6.2 性能及び構造 ■ 16.6.3 ~ 16.6.5	a) ステンレス建具の性能・構造等 ※ 16.4.2 (鋼製建具) に準ずる ・ 設計図による a) 材質 ※ SUS304 ・ SUS316		b) 自動ドアのセンサー検出範囲は、幅方向は自動ドア有効開口幅に左右それぞれ 500mmを加えた寸法以上、奥行き方向は戸中心より1,000mm以上とする。 c) 原則として自動ドア挟まれ防護柵・手摺ガード等を設け、形状・仕上・施 工箇所等は設計図による。
	d) 伸縮調整継手を必要に応じて設ける。 e) 手摺の高さ及び足掛かり等の手摺安全基準は、一般財団法人ベターリビング「墜落防止手摺の評価基準」に準拠する。 f) 手摺のが ラス面及びバネル面強度は、本特記に規定する耐風圧性能を確保し一般財団法人ベケーリビング「墜落防止手摺の評価基準」に準拠する。		3) 耐震建具の面内変形 ・ D-1 () ・ D-2 () の追随性等級 ・ D-3 () 4) 表面処理 ※表 [14.4.2] による ・ その他 5) 31mを超える場所に設置する場合は、建設省告示第1458号による耐風圧性能計算書を提出し、監理者と協議を行うこと。	材料 形状及び仕上げ 工法	b) 表面仕上げ ・	14節 ガラス	d) 設置箇所周囲に居室がある場合は防音振動対策仕様品(メーカー最高仕様)とすること。 a) この節は、建具に取り付けるガラス及びガラスプロックに適用するほか、カー
	g) 手摺が ラスをはめ込む溝の大きさ及び溝面クリアランスは標仕[表16.3.4]により必ず安全性に支障のない寸法を確保すること。		b) 内部に面する建具の性能 ※ 下記による ・ 設計図による 1) 防音建具の遮音性能 ・ ・ T-1 ()・T-2 (施工箇所 () d)曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ ・R=1.5mm ・その他 () (施工箇所 :)	適用範囲	テンウォールが ラス・手すりその他各所のが ラス施工部分に適用する。 b) その他、JASS17及び「安全・安心が ラス設計施工指針 増補版(一財)日本 建築防災協会」の指針を満足すること。
■ 14.8.6 追 金属製ルーバー	施工箇所 材料の種別 表面処理/仕上 寸法・形状等 ※ 図示 ※ アルミニウム製型材 ※ 14. 4. 2による ※ 形状は図示 ※ 図示 ※ アルミニウム製型材 ※ 14. 4. 2による ※ 形状は図示		2) 断熱建具の断熱性能 ・ T-3 (7節 木製建具 ■ 1 6. 7. 2 材料	a) 建具材加工・組立時の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 b) 表面材合板の種類・品質 ・ 普通合板 ・ 天然木化粧合板		c) サッシ施工図作成前に性能・強度計算書を作成し監理者の確認を受けること。
	○ 天井 ○ アルミニウム製型材 ○ オレフィンシート貼り ○ 形状は図示		c) 結露対策として結露受及び水抜きパイプ等の排水機構を設ける。 d) 外気に面する建具材周囲取合部の熱橋箇所には適切な断熱処理を行 うこと。		・特殊加工化粧合板 ※ 設計図による c) かまち戸の材種 d) ふすまの上張り ※上新鳥の子・鳥の子・じょ紙・設計図による e) 枠及び沓摺の材料・木製枠 ※鋼製枠及びステンレス製沓摺・設計図による	■ 1 6. 1 4. 6 性能 追	a) 耐風圧性能 1) 設計用風圧力及び風力係数 ・ 風洞実験結果による ※ 建設省告示第1458号により算出した値
	15章 左官工事		e) 外部建具が内装材に接する部分は層間変位や風圧等による異音の発生を次ぎ、窓台・プラインドボックス等との接触部は振動が伝達しない構造とよっこ	■ 16.7.3 ~16.7.4	f) フラッシュ戸に用いる合板のうち、水廻り部分は耐水合板とする。 g) 建具材は監理者の承認を得て代用樹木を使用することが出来る。 a) かまち戸の見込み寸法 ・ mm ※ 設計図による		※高さGL+13m以下にも適用。 2) 地表面粗度区分 ・ (I) 都市計画区域外 ・ (IV) 極めて都市化が著しい区域 3) 再現期間 ・50年 ※400年 ・200年 (高さ60m超)
2節 モルタル塗				形状及び仕上げ	b) ふすまの見込み寸法 ・ mm ※ 設計図による		
■ 15.2.2 材料		材料 形状及び仕上げ	a) 網戸等 1) 網の種別 ※ ステンレス製SUS316 ・ ガラス繊維入合成樹脂 ・ 合成樹脂 2) 形式 ※ 外部可動式 ・ 内部開閉式 ・ 固定式 b) 防鳥網 ※ 屋外に面するガラリ類に設置 ・ その他 () (ステンレス製)		c) 戸ふすまの見込み寸法 ・ mm ※設計図による d) 紙張り障子の見込み寸法 ・ mm ※設計図による e) ふすま縁の仕上げ ※ 塗装 ・ 白木縁 f) 建具枠で吊元部分及び水掛り部分は米ヒバとする。 樋端(ヒバタ)の戸当り部分には原則として、ピンチプロックを使用のこと。		b) 耐振性能 1) 建物高さ · 3階以下 · 3階以上 · 31M>H · 31M≦ H 2√3階以上の場合及び高さ31Mを超える場合は建設省告示 (109号) 準拠。
木更津	市市民部市民活動支援課	工事名	(仮称)市民交流プラザ 内装・書架・什器等整備工事	図面名称	建築特記仕様書(2)		縮尺 2023/03/31 A-02

	c) 熱割れ防止性能 下記箇所は熱割れ防止性能に関する検討を行う。		b) 強化がラスの飛散防止フィルム張り ※ 行う ・ 行わない		1) 工法 ※ 熱溶接工法 (施工箇所 : 図示) ・ 突付工法 (施工箇所 :)		品番等: ・併用工法 ・ワックス ・複合2種 ・mm ※ 12 ・釘留め工法・無 ※ 無
	・外装に使用するガラス(ガラスに近接した壁や熱だまりに		18章 塗装工事		人口一人 《 他一 图 7		
	なる部分等、周辺の状況も計算要素に加える)	1 200 20	10年 室教上学		b) ピニル床タイルの種別・仕様・適用等 ※下記による ・設計図による		品番等: ・ 併用工法 ・ ワックス
1	・線入板ガラス・網入板ガラス・熱線吸収板ガラス・熱線反射板 ガラス使用部分	1節 一般事項 ■ 18.1.3			種別/メーカー品番(下段) 色柄 寸法 特殊機能 厚さ (mn) 施工箇所等 ・ 未モジニアス (HT) ・ 無地 ・ 450×450 ・ 帯電防止 ・ 2.0 ※ 図示		・複合3種 ・ mm ※ 12 ・ 釘留め工法・ 無 ※ 無 ト 15 ・接着工法 ・ ウレタン ・ 有 ト 15 ・ 接着工法 ・ カータン ・ 有 ト 15 ・ カータン ・ カータン ・ 有 ト 15 ・ カータン ・ カータン
1	・ライトコート等吹抜に面した部分・バルコニー・外廊下・キャノピー等	~ 18.1.5	a)屋内で使用する塗料は、F☆☆☆☆品を使用することを原則とする。		品番等:		品番等: ・ 併用工法 ・ ワックス
	のガラス使用部分	材料、施工一般	b)種別・使用箇所・防火材料等の指定は、本特記仕様書及び設計図により屋内の壁・天井の塗装仕上材は、防火材料又は建基法に基づく		- 半硬質コンボッ・ション (CT) - 柄物 - 300×300 - 耐動荷重性 - 3.0 ※ 図示		・シートフローリング ・ mm ※12 ・ 釘留め工法 ・ 無 ※ 無
	・南面、及び南東、南西に面した部分 ・熱線反射フィルム・飛散防止フィルム・その他のフィルムを施した	見本	基材同等の認定表示のあるものとする。		品番等: - 軟質コンボジション (CTS) - 特注 - 特寸カット - 防滑性 - 5.0 ※ 図示		
	ガラス部分		c) 原則として塗装見本は必ず提出し監理者の承認を得ること。但し、		品番等:		・メーカー名・品番:東京工営 オークカスタム同等品
	가 포너德 整사 수는		監理者の指示により見本帳に替えることができる。 		・置式ピニル(HTL) ・無地 ・450×450 ・耐薬品性 ・2.0 ※図示 品番等:	□ 19. 5. 8	a) 特記なき限り、遮音性能は「軽量床衝撃音(Δ L L (II) -3)」、「重量床衝
	d) 耐衝撃性能 下記か所は耐衝撃性能に関する検討を行う。				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	追 19. 5. 8	a) 特記など成り、巡目住記は「軽量休倒季目(Δ C C (II) = 3/]、「重量休倒 撃音(Δ L H (II) = 2)」とする。
	⊙ 共用部分 (エントラン・ロビー・階段室廻り・各室入口等)				品番等:	二重床	b) 壁先行施工とし、際根太を使用しない工法とする。
	○ 居室部分 (居室ドア・浴室ドア等)・「改訂版ガラスを用いた開口部の安全設計指針」の適用	2節 素地ごしら ■ 18.2.2	5え		c) ピニル巾木の仕様 ※ 下記による(適用は図示)・ 設計図による		c) 熱反り・遮音性能の試験デーク提出の上、監理者の承諾を得ること。
	対象となる部位・用途	~ 18.2.7	a) 各種素地ごしらえの種別・適用等 ※ 下記による ・ 設計図による		1) 高さ (mm) · 50mm ⊙ 60mm · 75mm · 100mm	6節 畳敷き	
	※ 人体衝突に対する衝撃は「ガラスを用いた開口部の安全 設計指針」建設省住指発第116号及び建設省住指発	素地ごしらえ の種別	塗装面 種別 施工箇所等		2) 厚さ (mm) ※ 2.0mm ・ 2.8mm ・ 4.0mm ・ 4.5mm 3) 硬さ ・ 半硬質 ・ 硬質塩ビ ※ 軟質 ・ 軟質 (発泡層付)	■ 19.6.2 材料	a) 畳の種別 ・A種 ・B種 ※C種 ・D種 ()
	第11号によること。	0万代至 万寸	木部(透明塗料塗面) ・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ 図示		0) 饭C 一个饭食。 饭食塩仁 公 私食 、 私食 (无心后的)	12 47	• 特殊量 ()
	、		鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ※ 図示 亜鉛メッキ鋼面 ・ A種 ※ B種 ※ 図示		d)屋内床に使用する材料は、乾燥時・湿潤時共に滑り抵抗値 (C.S.R) は (0.55)以上とする。また、隣り合う異種材料間のC.S.R値の差は		b) 設計図他に記載なき限り、原則として防虫処理をしたスタイロ畳以上とす
	e) 遮音性能 サッシ及びカーテンウォール遮音性能に準ずること。 f) 断熱性能 サッシ及びカーテンウォール断熱性能に準ずること。		亜鉛メッキ銅面		(0.20) 以内とする。		。 c) コンクリートスラブ直敷きの場合は、押入れ等を含め防虫・防湿紙を敷き込むこ
	g) 耐火性能 カーテンウォール耐火性能に準ずること。			3節 カーペット	敷き		٤.
■ 16.14.2	a) 板ガラスの種別・種類・厚み・仕様・適用等は設計図による。		コンクリート面 ※ A種 ・ B種 ※ 図示	■ 19.3.3 ~ 19.3.4	a) 織じゅうたんの種類・厚さ・適用等 ※ 下記による ・ 設計図による	7節 せっこうボ	ード、その他のボード及び合板張り
材料	b) 特殊なガラスの性能値等 ※ 下記による ・ 設計図による		せっこうボード・その他ボード面 ※ A種 ・ B種 ※ 図示	材料、工法	種別/メーカー品番(下段) 織り方/色柄 バイル形状 帯電性 下敷材厚 施工箇所等	■ 19.7.2	
	種別 種類・仕様等 ・ 高透過ガラス 可視光透過率 : () %以上	3節 鋳止め参料	N. Section 1		・ A種 ・ ウィルトン ・ カット ・ 2.0Kv以下 ・ mm ※ 図示 品番等: ・ 無地 ※ 3.0Kv以下	~ 19.7.3 材料、工法	a) 各種ボードの種別・厚さ等 ※ 下記による (適用は図示・設計図による 種別 記号 厚さ 備考 備考
	- 熱線吸収ガラス 色:	■ 18. 3. 2	<u> </u>		B種 ・ 7キスミンスター ・ ルーフ゜・ 2. OKv以下 ・ mm ※ 図示	1271 - A	・硬質木毛セメント板 HW ・ 15 ・ 20 ・ 25
1	日射取得率 : ()%以下・熱線反射ガラス 色:	塗料種別	a) 鉄鋼面錆止め塗料種別 1) 屋は ※ A 括 。 B 括 。 作事仕様 (IASS 18 に トス)		品番等: ・特注 ※3.0Kv以下 ・C種 ・併用・2.0Kv以下・ mm※ 図示		・中質木毛がか板 MW ・15・20・25 ・※落本毛がが板 MW ・15・20・25
1	・		1) 屋外 ※ A種 · B種 · 塩害仕様 (JASS18による) 2) 屋内 · A種 ※ B種		- C種 - 併用 - 2.0kv以下 - mm ※ 図示 品番等: ※3.0kv以下		・普通木毛セパト板 NW ・15・20・25 ・硬質木片セパト板 HF ・12・15・18・21
1	・合わせガラス ガラスの種類 ※図示		b) 亜鉛メッキ鉄鋼面錆止め塗料種別 ※ A種 · B種 · C種				普通木片セメント板 NF ・ 30
1	中間膜 ・複層ガラス ガラスの種類 ※ 図示	■ 18. 3. 3			b) タフテッドカーペットの種類・厚さ・適用等 ※ 下記による ・ 設計図による バイル形状/トュー品素 (下段) ベィル長 (皿) 工法/色柄 帯電性 下敷材厚 施工箇所等		- けい酸カルシウム板 0.8FK ○ 6 · 8 ※ 目透かし工法 ※ 素地のまま
	熱貫流率 : () W/m・k以下	錆止め塗料	a) 鉄鋼面塗りの種別		 カット ・ 4 ・ 5 リッパー工法 ・ 2.0Kv以下 ・ mm ※ 図示 		1. 0FK グラス 水掛部への 使用は不可 クラス (
	日射進入率 : () W/m・k以下 ・Low-E複層ガラス ガラスの種類 ※ 図示	塗り	1) 見え掛り部分 ※A種・B種 2) 見え隠れ部分 ・A種 ※B種		品番等: ・無地 ※3.0kv以下 ・ mm ※ 図示		- ロックウール化粧吸音板 DR - フラットタイプ (・9 (不燃) ⊙ 12) - 凹凸タイプ (・9 (不燃) ・12)
	熱貫流率 :()W/㎡・k以下		b) 亜鉛メッキ鉄鋼面塗りの種別		品番等: - 柄物 ※3.0Kv以下		・ロックケール吸音ボート* RW-B ・ 25 ・ 50
	・ 遮蔽係数 : 0.6以下 ・ 日射進入率 : 0.53以下		1) 鋼製建具面 ※ A種 · B種 · C種 2) その他 · A種 · B種 ※ C種		・ 併用 ・ 5~7 ・ 全面接着工法 ・ 2.0Kv以下 ※ 図示 品番等: ※ 3.0Kv以下		・ グラスウール吸音ボード GW-B ・ 25 (ガラスクロス包) ※ 32 K
	・真空ガラス ガラスの種類 ※ 図示		Z/ その他 ・A性 ・D性 次 6性		四留守: 个行/工 次 0. UNV以下		・ グ
	熱貫流率 : () W/m・k以下	4~14節 各	種塗料		c) ニードルパンチカーペットの種類・厚さ・適用等※下記による・・設計図による		※厚地・薄地
	c) 延焼部分及び共用部分に面した居室開口部は、原則として全て網入ガラス・	■ 18.4.1 ~ 18.14.2	a) 各種塗料の種別・適用等 ※ 下記による ・ 設計図による		メーカー品番 厚さ (㎜) 工法 帯電性 色柄 施工箇所等 ・3.8 ・全面接着工法 ・2.0 (パリスト・無地)※ 図示		・せっこうボード GB-R ② 12.5(不燃) ③ 15(不燃) ③ 21 (不燃) ・不燃積層せっこうボード GB-NC ・ 9.5(不燃)
	耐熱強化がラスとする。	適用範囲	記号 塗装名 種別 施工箇所等		Ж 3. ОКУЫТ		・ 化粧無(下地張用)
	d)中間膜厚は、合せが ラス材の構成・大きさ・使用する部位等に適合した所定 の性能を満たす製造者の仕様による。	塗料の種別等	SOP 合成樹脂調合ペイント(木部・屋外) ※ A種 ・ B種 ※ 木部の一般的塗装 合成樹脂調合ペイント(木部・屋内) ・ A種 ※ B種				・ 化粧有(トラバーチン模様) ・ シージングせっこうボート GB-S ○ 12.5(不燃)
	e) 合せがラススのジョイント目地及びガラス留めに使用するシーリング材は、中間膜材に適		古成領部調告		V 0. 00138 L		1 2 7 7 7 7 2 3 2 3 4 Flub 3 12.3 (11·3/4)
	した材質・性能・工法による。		CL クリアラッカー ・ A種 ※ B種 ※ 木部 NAD アクリル樹脂系非水分散形塗料 ・ A種 ※ B種 ※ ಬウリート・モルル面等(屋内)		d) タイルカーペットの種類・厚さ・適用等 ※ 下記による ・ 設計図による		・強化せっこうボード GB-F ⊙ 12.5(不燃) ⊙ 15(不燃)
■ 16.14.3	a)アルミニウム製防火設備のガラス留め材は建基法に基づく防火性能の認定を		NAD 7ウリル樹脂系非水分散形塗料 ・ A種 ※ B種 ※ ユンウリート・ Eルウル面帯 (屋内) DP 耐候性塗料 ※ 標任(表18.7.1]による ※ 鉄頭面 - ユンウリート面帯 (外部)		<u> ト</u>		・せっこうラスボード GB-L ・9.5 ・化粧せっこうボード GB-D ⊙ 12.5(不燃) 幅440mm程度
ガラス溝の寸法	受けた条件によること。		EP-G つや有合成樹脂エマルションパイント(鉄銅面) • A種 ※ B種		Ж 1. 0Kv以下		模様(・柾目・板目) ・専用下地材有
形状等	b) ガラスの抑えは、特記無き限りシーリングとする。 c) 住戸内木製建具に入るガラスは、設計図他に記載なき限り強化ガラスとする。		つや有合成樹脂エマルションバイント(上記以外)・A種 ※B種 EP 合成樹脂エマルジョンパイント ・A種 ※B種 ※屋内の一般的塗装		⊕ サンゲツ○ 6.2○ 500×500○ ループ・ 6.5Kv以下・ 柄物※ 図示※ 1.0Kv以下		・フレキシブ / ルボート* ・ 5 ・ 6 ※ 目透かし工法
	d) 近隣建物の各室に面した開口部・隣戸間同志の見合う開口部は、原則とし		EP-T 合成樹脂エマルジョン模様塗料 ・ A種 ※ B種 ※ EPの模様塗装		 東リ ○ 6.0 ○ 500×500 ○ ループ ・ 0.5Kv以下 ・ 無地 ※ 図示 		b) せっこうボードの目地工法 ※ 縦目地処理工法
	て型板がラスとする。但し、目隠し等の処置をした場合はこの限りでない。		UC ウレタン樹脂ワニス塗 ・A種 ※B種 ※木部 LE ラッカーエナメル塗 ・A種 ※B種 ※木部		※1.0Kv以下 ⊙ 東リ ○ 7.0 ○ 500×500 ・ ルーフ ・ 0.5Kv以下 ・ 無地 ※ 図示		・ 突付け工法 (※ ^^ ルエッジ ・ スクエアエッジ) ・ 目透かし工法 (・ ^^ ルエッジ ※ スクエアエッジ)
1	e) 強化ガラス・合わせガラス・倍強度ガラスにおいては設置溝面クリアランスの確保を必		OS オイルステイン塗 ※ 標仕[表18.13.1]による		※1.0Kv以下		・ 日返かし工法 (・ ベ hilly
1	ず確認すること。 f) 共用部分の全ての部位では、設計図他に記載なき限り強化が ラスを使用する。		WP 木材保護塗料 ・ A種 ※ B種 ※ 木部(屋外)				c) せっこうボードの出隅部分 ※プラスチック製 ・薄膜鋼板製
1	g) が ラス手摺 (パルコニー・共用廊下等) は原則として合わせが ラスを使用する。				階段部分 ・ 市松敷き ・ 模様流し		の保護材 ・ 薄膜ステンレス付きコーナーテープ
	h)網入りガラス及び線入りガラスの小口処理をを行う。		b) 上記以外の塗料の適用がある場合は、塗料種別・仕様等は設計図に よる。		2)見切り、押え金物 ⊙ 適用する (※ 図示)		d) 出入口上部の割れ防止 ※ 設ける (※ プラスチック製)
■ 16.14.7	強化が,ラス・倍強度が,ラスを採用する場合は以下のことに留意すること。				・ 適用しない		d) 出入口上部の割れ防止 ※ 設ける (※ プラスチック製) 縦ジョイナー ・ 設けない
追	a) 使用部位別に自然破損対策(合わせが ラスの採用や飛散防止フィルム貼りによる脱落飛散防止措置等)を検討する。			5節 フローリン	グ張り		
自然破損対策	b) 6mm以上の強化が ラス及び設計者が必要と判断する場合、ヒートソーク処理を施し	1節 一般事項		■ 19.5.2 ~ 19.5.6	a) 単層フローリングの種別・工法等 ※ 下記による(適用は図示) ・ 設計図による		e) 合板等の種別・厚さ等 ※ 下記による(適用は図示・設計図による 種別 記号 厚さ・仕様等 備考
1	たものを使用すること。	■ 19. 1. 2	\AIF 1667=0.00 # AII WIFTEN AND	材料、工法	種別/メーカー品番(下段) 樹種 厚さ (mm) 工法・下張り 仕上塗装 床荷重補強		・普通合板 表面の材種 ・防虫処理
	c) 日常的に目視確認しづらい箇所では、ガラス破損の確認が遅れ、脱落 に至る可能性があるため、熱処理ガラスを使用する部位はガラスが万が	基本要求品質	a) 合板・木質系フローリング・集成材・単板積層材(LVL)・MDF・パーティクルポード構造用 パネルその他の木質建材・ユリア樹脂版・壁紙・接着剤・保温材・緩衝材断熱	現場塗装仕上	・フローリング・ボート・ ・フ・ナ ※ 15 ・ もありル埋込工法 ・ 無 ※ 無 ・ 有 ・ 有 ・ 有 ・ 有 ・ ままままます。		□ □ ○ 生地 ・ 透明塗料塗 ・ 難燃処理 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	一破損したとしても通常のメンテナンスで発見できる部分とする。		材・仕上塗材を屋内に使用する場合はF☆☆☆☆等級(JIS・JAS)とする。 (収納・キッチン・洗面・システム家具等も同等とする。)		品番等:		・不透明塗料塗
■ 16.14.8	熱処理ガラスを下記部位に使用する場合は、ガラス破損時の人の転落防止及びガラ				・ フロー-リングプロック ・ ナラ ※ 15 ・ 釘留め工法 ・ ウレタン ※ 無・ 22 ・ 右		(※ 分程度・) 板面の品質 ()
追	スの飛散・脱落を防止する処置を講ずる。	2節 ビニル床シ	一ト、ビニル床タイル及び床タイル張り		品番等:		板間の高貝 () 厚さ (mm) (12)
安全上の	a) ガラスが破損して脱落した場合に人がけがをする危険性がある箇所(落下高 さが3m以上、人通りが多い箇所、庇・屋根トップライト等の傾斜面等)	■ 19.2.2	a) ピニル床シートの種別・仕様・適用等 ※ 下記による ・設計図による 種科/ケーカー品番(下段) 色柄 特殊機能 厚さ(㎜) 施工筒所等		・ モザイクパーケット ・ カバ ※ 15 ・ 接着工法 ・ オイルステイン ※ 無		接着の程度 (・1類 ※2類)
配慮事項	b) が 53破損時に人が転落する危険性がある箇所	~ 19.2.3 材料、施工	種別/メーカー品番 (下段) 色柄 特殊機能 厚さ (mm) 施工箇所等 ・発泡層有 ・TS ・無地 ・帯電防止 ・2.0 ※ 図示		□ □ □ □ · 22 □ □ □ · 有 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		・ 天然木化粧合板 樹種名 ()・ 防虫処理
	(手摺など、人・物の積載を前提とする箇所)		品番等:				接着の程度 (・1類 ※2類)・難燃処理
■ 16.14.9	a) ガラスフィルムの仕様・適用等 ※ 下記による ・ 設計図による		② 発泡層無 ○ FS		b) 複層フローリングの種別・工法等 ※ 下記による(適用は図示) ・ 設計図による		厚さ(mm) () ・防炎処理 線付材厚さ(mm) ()
追	名称 種類 張り面 性能 施工箇所等		⊙ その他⊙ HS・特注⊙ 防滑性・ 5.0 ※ 図示		種別/メーカー品番(下段) 練付厚 厚さ (mm) 工法・下張り 仕上塗装 床荷重補強		・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法
ガラス用フィルム	・ ガラス飛散防止フィルム ※ 内張 ※ 第2種 (JIS A 5759) ※ 図示		品番等: サンケ*ツ-SKシリース* ○ その他 ○ 2.8		○ 複合1種 · ○ A種 · ○ 3mm · ※ 12 · · 釘留め工法 · 無 · ※ 無		・ オーパーレイ ・ プリント・ 塗装
	・ 視界制御フィルム ※ 図示		・KS ・その他 ・ 耐薬品性 ・ 2.0 ※ 図示 品番等:		・ 根太張り		表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1類 ※2類)
	// E-/-		※TS: 単層t' =ル床シート、FS: 複層t' =ル床シート、HS: 発泡複層t' =ル床シート KS: クッションフロア		・複合1種 ・B種 ・ mm ※12 ・釘留め工法・無 ※無		・メラミン樹脂化粧板
		<u> </u>		-	・ 直張り ・ 15 ・ 接着工法 ・ ゥレタン ・ 有		* * ' リエステル樹脂化粧板
大 更 津 市	市 市民部 市民活動支援課		事名称 (仮称)市民交流プラザ	図面名称	建築特記仕様書(3)		縮尺 2022/02/21 A-03
小火件	11 11以印 11以11到入1次怀		サイベー 内装・書架・什器等整備工事		左术N6L1冰百(U)		= = = = = = = = = =
<u> </u>			L'	1			

	・ミディアムデンジティ MDF ・3 ・7 ・9 ・12 ※ 外部に面する 窓・サッシ類額 緑への使用は不可		1 単価項目 (共通仮設) 揮発性有機化合物室内濃度測定費	■ 20.2.4 可動間仕切	施工箇所 構造形式 パネル厚 表面材種・厚さ (m) 仕上(げ 連音等級 ※ 図示 ○ パネル式 ・ 60 ○ 鋼板 ※ 焼付塗装 - スタッド式 ○ 80 ※ 0.6 ・ 0.8 ・ 壁紙張り		※ 図示 ・電動ロールスクリーン ※ ** パ・パ・レル仕様 ・ 遮光仕様 ・ 遮光仕様 ・ 遮光仕様 ・ 遮光仕様 ・ 遮光仕様 ・ 遮光仕様 ・ 変形する ・ 電動式 (・ 個別 ・ 遠隔連動操作)	
	 単板張りパーティクル ・無研磨板 ・研磨板 ・ 10・12・15・18 ・化粧パーティクルボード ・単板オーパー!・プラスチックオーパーレィ・塗装 ・10(難燃)・12(難燃) 		1ヶ所測定・サンプリング ・報告書作成共 アクティブ型採取機器 (7物質)		・ パネルスタッド式 - 100 - メラミン化粧板 - 120] 2 0. 2. 1 2 カーテン	おり ロールスリーン 布地材は防汚加工品で消防法に定める防炎性能を有すること。 施工箇所 形式 装置 きれ地・品質 ひたの種類 備考 次回示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	・ ハードボード(素地) HB ・ 無研磨板 ・ スタンダード ・ ハードボード(化粧) ・ 内装用 ・ 外装用 ・ ハードボード(化粧) ・ ス多ンダード ・ インシュレーションボード IB ※ A級 () ・ 天井仕上 ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 内装仕上		【測定費】 (特記) 1. 「7物質」ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、	■ 20.2.5 移動間仕切 (スライディングドア)	施工箇所 遮音性能区分 厚さ (mm) 表面材 表面仕上げ 遮音等級 ※ 図示 ・一般タイプ ・ 鋼板 ※ 焼付塗装 ・ 合板アドミフレーム ・ カロス張り ※ 図示 ・ 適番 ・ 食 の で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	■20.2.14	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	f) 合板類の張り付け ・ A種 ※ B種g) バックヤード腰壁の合板張り ・ 有り		エチルベンゼン、スチレン、アセトアルデヒド、 パラジクロロベンゼン 2. 各物質の抽出・分析方法は、以下による。 ・ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド・・・・・・・	■ 20. 2. 6	・ メーカー名・品番: 小松ウォール ランニング100D2同等品以上	カーテンレール		
8節 壁紙張り ■ 19.8.2	(・図示 ・合板(1種1級,厚15mm)H=900) ⊙無し	-	DNP H誘導体固相手吸着/溶媒抽出ー高速液体 クロマトグラフ法 ・トルエン、キシレン、エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン、 スチレン・・固相吸着/溶媒抽出法ーガスクロマトグラフ /質量分析法	トイレブース	※ 図示 ※ メラミン樹脂化粧板 ・ * SUS304 中木 ・ 7ルミ製標準色 ・ SUS304 足金物 ・ * SUS304 足金物 ・ * M同色焼付 ・ * SUS304 中木 ・ 7ルミ製標準色 ・ * * リエステル樹脂化粧板 ・ * SUS304 中木 ・ 7ルミ製標準色 ・ * が期の免疫付	■ 20.2.15 <u>追</u> ブ・ライント・ボ・ックス カーテンボ・ックス	※ 製作品 (※ 詳細は図示 ○ 遮光仕様 ・ その他) ※ 鋼製曲げ加工品 (※ 詳細は図示 ○ 遮光仕様 ※ 焼付塗装・ 現場塗装) ・ 市販品 (※ アルミニウム製押出型材 ・ 遮光仕様 ・ その他) 1) 溝幅×深さ(mm) ※ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 2) 表面処理 ※ B−1種	
材料	a) 壁紙・布・加ス張りの材料は、建基法に基づく防火材料の認定品とすること。 b) 壁紙張りの種別・性能等 ※ 下記による(適用は図示) ・ 設計図による 種別 壁紙の種類 (およれば) では、また。		3. 採取は、1ヶ所あたり2検体の採取・分析を含む。	■ 20. 2. 7	・ メーカー名・品番: 小松ウォール サニティTB-TP, YP同等品以上 が正箇所 材種・形状 寸法 (mm) 取付工法 備考 ■	■20.2.17 追	 B-2種 (・プラウン系・プラック ・ステンカラ-) D種 (焼付塗装 :) a) 材質 ※ アルミニウム製 ・その他 ()	
	メーカー名・品番 紙 織物 ピール 化学 繊維 無機質 防火性能・ト地 偏考 シンコール ・ ・ ・ ○ 不燃 シンコール ・ ・ ② 不燃	20章 ユニット		階段滑止め	※ 図示 ② ステンレス製ピニルタイヤ入 7ラットエンド型 250 取付寸法 250 ※ 図示 ・ アルミニウム製ピニルタイヤ入 7ラットエンド型 500 ・ 40 ・ 埋込工法 500 ※ 図示 ・ ステンレス製	天井点検口	b) 形状 ※ 額縁タイブ ② 目地タイブ ・ 額目地タイブ ・ 鍵付 c) 仕上 ※ アルミ色 ② 焼付塗装 d) 大きさ(mm)・個数 ・ 600×600 (目地タイプ 箇所) ・ 450×450 (額目地タイプ 箇所) ・ 300×300 (塩ビ枠 箇所)	
	サンゲツ ・・ 準不燃 サンゲツ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	■ 20. 2. 2 フリーアクセスフロア	施工箇所 ・ 一般室対応 ・ 防災センター対応 工法・構成 ※ バネル工法 ・ 支柱一体型・ 支柱分離型 ・ 満工法 ・ 免震工法		※ 図示 ・ 磁器質タイル垂れ付段鼻 垂れ寸法 ※ 床タイル張 ※ 30 ■ ・ メーカー名・品番:	■ 2 0. 2. 1 8 <u>追</u> 床点検口	天井図による。 a) 材質(本体) ※ アルミニウム製 ⊙ ステンレス製 ・ モルタル充填タイプb) 材質(受枠) ※ アルミニウム製 ⊙ ステンレス製 ・ 鋳鉄製 c) 仕上材 ※ 床仕上げと同材・その他(b) 大きさ(mm)・個数 ※ 600×600 (เด็x・เดิน8ヶィブ 5 箇所)	
	大洋株式会社 ・・・・○ ・ 本不燃 ・ 不燃 ・ 不燃 ・ 平不燃 ・ 平本燃 ・ 本水燃 ・ 準不燃 ・ 本水燃 ・ 準不燃 ・ 準不燃 ・ ※ 下記による (適用は図示) ・ 設計図による		・線点支持型・面支持型 ※ 中実スチール ・GRC系 ※ 中実スチール ・GRC系 - 中空スチール ・ 7ルダ (キャスト ・ 中空スチール ・ 7ルダ (キャスト ・ ケイ酸カルシウム系 ② 軽量コンウリート ヶ/4酸カルシウム系 ※ なし(吐上置数等) ② タイルカーペット ・ 帯電防止床タイル ・ 帯電防止床タイル	■ 20.2.8 床目地棒	a) 材質 ② ステンレス ・真鍮 ・7ルミナップロック ・木 b) 取付位置・形状 ・図示 ※ 5×12mm ・ 6×15mm ・ 6×18mm に c) 床仕上材が異なる部分には、金属製目地棒を使用する。] 2 0. 2. 1 9 <u>追</u> くつふきマット	<td color="1" color<="" rowspan="2" th=""></td>	
	A		パネルサイズ (mm) ・ 500×500 ② 600×600 ・ 500×500 f 600×600 床高さ ・ 100mm ・ 150mm ・ 150mm ・ 150mm ・ 300mm ② 40mm ・ 300mm ・ 3000mb ・ 3000Nb イブ ③ 5000Nb イブ ・ 3000Nb イブ ・ 5000Nb イブ	20.2.9 ■黒板及び	施工箇所 種類 寸法 (mm) 色彩 形状 ※ 図示 ・ 黒板 ※ 焼付け ※ 図示 ※ 緑 ※ 曲面 ・ 平面 ・ オカリーン付引分	■ 20.2.20 追	※ 図示 ・塩化ピニル製 (ステンルス製受枠) ・メーカー名・品番: LIXILセクショナルキッチンGK同等品以上 種類 寸法 (L=mm) 仕様等 規格・品質等	
10節 その他 ■ 19.10.1 <u>追</u> 化学物質の濃度	· ^{華不應} · ^{華不應} · ^{華不應} · ^{華不應} · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-	・ 6000N947" ・ 6000N947" ・ 6000N947"		※ 図示 ○ ホワイト ※ ほうろう ※ 図示 ※ 由面 ・ スウリーン付引分 ○ 壁掛け式 ・ メーカー名・品番: ホワイトボード工場・EF-1218-W (無塗装)	流し台ユニット	③流し台 ⑤1200 ・1500 ・1800 ・1800 トラップ 付き 優良住宅部品 ・コンロ台 ・600 ・700 ・ パッサがート、※有り ※図示 ・つり戸棚・1200 ・900 ・600 耐震取手付 ※図示 ・水切り棚・1200 ・900 ステンレス製1段式 ※市販品 ・ミニキッチン・1200 ・900 1000で電気コンロ付 ・冷蔵庫有・冷蔵庫無	
測定 (内装施工後の 室内空気質測 定) 化学物質の濃度	b) 実施時期 ・ 完成引渡の1か月前 ② 別途工事の家具備品搬入前 c) 報告書の部数 ・ 3 部 d) 採取・測定方法・ 拡散型 (パッシプ) サンプラーを用いた測定方法・ 厚労省「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」による 測定物質 測定箇所		その他 ※ 配線取出口 工場加工品 ・ 空調吹出口 (・無 ・ 固定式・ 可変式) ・ スローブ・ボーヴ・ーはメーカ・標準仕様 ・ コンセバ対応、本体は別途診備工事 ・ スレーブ・ボーヴ・ーはメーカ・標準仕様 ・ コンセバ対応、本体は別途診備工事	■ 20. 2. 10 表示・標識		■ 20.2.21 追 誘導用及び 注意喚起用 点字鋲	 ※施工箇所は図示による。 a) 屋内 ・ SUS (HL) ・ SUS (HL) + 特殊樹脂 (黄色) ・ SUS (HL) + 特殊樹脂 (黒色) ① メーカー名・品番: タジマルーフィング・UD-SUS 	
	・ ホルムアルデヒド ・ トルエン ・ キシレン ・ エテルベンゼン		・ メーカー名・品番: 共同カイテック ネットワークフロア40 同等品以上 a) 電算対応の場合、ウイスカ発生の恐れがあるため電気亜鉛メッキされた構成材は使用しない。 b) コンセント等の取り付け対応がある場合、コンセントの箇所数は設計図による。	ŧ	・車室表示など ※ 図示 ※ 図示 ※ 図示 ・ 法令に基づく表示 ※ 図示 ※ 図示 ※ 図示 ・ パリアリー用標識など ※ 図示 ※ 図示 ※ 図示 ・ 屋内掲示板 ※ 図示 ※ 図示 ※ 図示 ※ 図示 ・ 屋外掲示板 ※ 図示 ※ 図示 ※ 図示 ※ 図示 ・ 館名板 ※ 図示 ※ 図示 ※ 図示 ※ 図示 ※ 図示	誘導用及び 注意喚起用	b) 屋外 ・ SUS (HL) ・ SUS (HL) + 特殊樹脂 (黄色) ・ SUS (HL) + 特殊樹脂 (黄色) ・ ゲーカー名・品番 :	
■ 19.10.2 <u>追</u> 完成時の 騒音測定	a) 測定の要否 ・ 行う ⊙ 行わない b) 実施時期 ・ 完成引渡の1か月前・別途工事の家具備品搬入前 c) 報告書の部数 ・ 部 d) 工事着手時における外部騒音測定の要否 ・ 行う ・ 行わない				※上地公園・調整池・公開空地・防火水槽等の看板は行政庁 指定以上のものを設置のこと。 ※マグネット・画鋲式掲示板: 大洋株式会社/ニューマグネットクロス、 GB-Rに接着貼り、四周アルミジョイナー焼付塗装同等品	床材	※ 図示 品番: 屋外 ・磁器質5(ル ・ 300×300 ・ 7 ※ 図示 品番: 点字シール	
	測定項目 測定箇所 ・ 床衝撃音 (Ll値、LH値) ・ サッシ遮音性能 ・ ド7開閉音、浴室シャワー音 ・ エンジンド7作動音	■ 20.2.15 <u>追</u> システム天井	施工箇所 方式 パー材・廻り縁材種 表面仕上げ 天井村・厚き (mm) ※ 図示 ・ ライン方式 ・ アルミーウム製 ・ アルミーウム製 ・ アルコイト ・ かっかりール t = ・ 熱硬化型アクリル	□ 2 0 . 2 . 1 1 ~ 2 0 . 2 . 1 : プラインド □-ルスクリーン	施工箇所 形式 スラットの材種 スラット幅 (mm) 備考 3 ※ 図示 ・ 横型 ・ アルミニウム合金 ・ 25 電動プラインド 塩化ビニル ・ 35 ・ 50	【20.2.22 <u>追</u> 防煙垂れ壁	施工箇所 形式 仕様 ※ 図示 ② 固定式 ※ アルミフレーム 高さ (mm) ② 500 ・ 300 ・ 300 か 5ス種類 ※ 線入りが ラス ・ 網入りが ラス ・ 合わせが ラス	
	・ エレベーター作動音 ・ 排気が ラリ 直近室内騒音 ・ 室内騒音レベル		- スチール製 ・ 熱硬化型アウリル・ ・ メーカー名・品番:		※ 図示 ・ 横型 固定プ・ライント・・ アルミニウム合金 ・ 50 ※ 図示 ・ 縦型プ・ライント・・ アルミスラット ・ 80 ・ クロススラット ・ 100		が ラス厚さ - 6.8mm ・ グ ラスアィイパー製不燃ンート製 ⊙ 樹脂含浸ガラス繊維織物 ・ 耐震仕様(壁際端部変位吸収機能付き) ・ メーカー名・品番 : ライクアートプランテック	
木更津	市 市民部 市民活動支援課	工事/	名称 (仮称)市民交流プラザ 内装・書架・什器等整備工事	図面名称	建築特記仕様書(4)		縮尺 2023/03/31 A-04	

Т	※ 図示 ・ 可動式 ※ (財)日本建築センター評定品・法令に適合した製品							
	 垂直降下式 (・可動レール ・固定レール ・ 不燃布スクリーン) ・回転降下式 (・天井同材張 ・ 鋼板張り) ・復帰方式 (・手動巻上ルドル・電動式) ・まぐさ、座板、レールの材種 	□ 20.2.33 追 貫通孔 地下ピット他	a) 人通孔 ・600 φ ※ 施工箇所は図示 ・ 箇所 b) 通気孔 ・200 φ ※ 施工箇所は図示 ・ 箇所 c) 通水孔 ・200 φ 半割 ※ 施工箇所は図示 ・ 箇所 d) 換気孔 ・200 φ ※ 施工箇所は図示 ・ 箇所 フ [*] ラスチック製防虫網付	■ 20.2.51 追 鏡 □ 20.2.52 追 衝突防止ポール	a) 仕様・大きさ等 : 耐食鏡、TOTO:YMK51K、YM3580FC b) 箇所数・適用等 : YMK51×1、YM3580FC×5 a) メーカー・品番・仕様 : b) 箇所数・適用等 :			
	(・鋼板塗装仕上 ・ アルミニウム製 ・ ステンレス製) ・ 操作盤 (・ 焼付塗装) ・ メーカー名・品番:	■ 20.2.34 追	e) 居室下に受水槽ポンプ室等機械諸室がある場合には、コンクリート二重スラプとし、 二重ピット内は塗布防水とし、排水ト゚レインを設置すること。 施工箇所 種別 備考	□ 2 0. 2. 5 3 <u>追</u> 金属系断熱 複合板	a) 金属系断熱複合板の種別・適用等 ※ 下記による ・ 設計図による 施工箇所 メーカー・製品名 パネル厚 働き幅 表面材/塗装 心材 ・ 外壁 ・ 25 ・ 600 ・ ガルパ゙リウム銅板 ・ ポ゙リイソシア ス スレートフォーム			
■ 20.2.23 <u>追</u> 消火器ボックス	形式 扉 有無 材質 箇所数 備考 ・埋込型 ・ ② ・ 鋼板製焼付塗装	階段手摺トイレ手摺	※ 図示		b) 耐火性能・構造 · 外壁45分準耐火構造 · 防火構造 · 外壁1時間耐火構造			
	・半埋込型 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	■ 20.2.35 <u>追</u> 天井見切り材	施工箇所 種別 備考 ※ 図示 ・ アルミニウム製 (・ シルバ-色 ・ 焼付塗装) ※ 図示 ○ 硬質塩化ピニル製 ※ 図示 ・ ステンレス製		c) 張り方向 ・ 縦方向 ・ 横方向 25章 サイン工事			
	・露出型 ・・・SUS HL ・露出型 ・⊙ ●鋼板製焼付塗装 (置型) ▽標準色 ・指定色 ・SUS HL	□ 20.2.36 追 メンテナンス用様子 脚立	 7 に製折り畳み梯子(既製品)・その他 1) 大きさ : W () m×L () m×D () m程度 2) 台数 : () 台 	1節 一般事項 ■ 25.1.1 追 適用範囲	a) 本章は建築物室内外及び敷地内に設置する各種案内板・室名表示等のサル移動式サル及び建築物に付設される屋外広告・電飾広告等に適用する。			
□ 20.2.24 追 避難器具	 ・消火栓ボックス内蔵(設備工事) (3 箇所) ※消防法に適合した形状・位置に設置 ⊙ 図示 ・消火器: 三津浜工業株式会社 同等品 ・避難ハッチ (トス方)・型・吊天井型(目隠しボックス付)) 操作位置 ※上階操作・上下階操作 	□ 20.2.37 <u>追</u> 高所作業車	a) メーカー・品者: b) 昇降方式 ・電動式 ・手動式 c) 作業床高 : () m d) 積載荷重 : () kg e) 設置台数 : () 台		b) 案内板・サイン等本体が別途工事の場合でも、該当する下地等に適用する。この場合、別途工事となる部分の下地強度等の設計条件を完成時の引継ぎ書類に明記する。 c) 電照式サインにおける電気設備工事との工事区分は、工事区分表による。 d) サイン取付けに必要な下地及びその補強工事は、本工事に含むものとす			
	収納ケースの材種 ・ ステンレス製 (ナカ工業タスカール同等品以上) ・ 銅製焼付塗装 大きさ(mm) ・ 600×600 ・ 600×520 ・ 700×700		f) 移動時は設置する昇降機にて運搬可能なサイズとする。 大きさ : W() m×L() m×H() m程度	■ 25.1.2	る。 a) サイン工事にも用いる材料は、所定のものとする。 b) サインは所定の形状及び寸法を有し、所定の位置に強固に取り付ける。			
	 ・救命袋 (箇所) ・緩降機 (箇所) ※ 避難器具は認定品とし消防法に適合した施工とする。 	□ 20.2.38 追	施工箇所 種別 形式 容量・耐荷重その他	基本要求品質	c) サインは建築物の用途・設置場所に応じた視認性を有するように設置する。 d) サインに記載する文字等は所定の大きさ・デザインを有し、歪みなくまたパランスよく配置する。			
□ 20.2.25 追 定礎	 ・定礎石 箇所 ※ 花崗岩 掘込み文字	グリース トラップ ガソリン トラップ	* 図示 ・ SUSグリーストラップ ・ シンダー内埋設浅型 () L ** FRPグリーストラップ ・ スラブ天吊耐火型 () L ** FRPグリーストラップ ・ スラブ天吊耐火型 () L ** 耐荷重:()型		e) サインは所定の外力・建築物の変形・温度伸縮に対して破損・脱落・有害な震動等がなく、安全なものとする。 f) 人が触れる可能性がある場所に設置するサインは寄掛かり等の用途に応じた通常の仕様に十分耐えうる強度を有し、使用時・不慮の衝突等の際の障害防止に配慮する。尚、子供の高さの安全性に十分配慮した納まりとすること。			
■ 20.2.26 追 かぎ箱	大きさ (m 600×600 a) 鋼板製市販品 ※キープラン、室名札付き 個数: 1 ケ b) 形式 ・ 30組用 ⊙ 60組用 ・ 120組用・ 600組用	-	1) 厨房の排水溝・グリーストラップ、駐車場の排水溝・ガンリントラップ等で建築工事に含むものの形状・寸法・材質・工法などは設計図による。		g) 電照式サインは光源の色のばらつき等による色むらがないものとし、蛍 光管等の光源の交換が用意に行えるように設置する。 h) 異種金属で構成される箇所では、適切な接触腐食防止処理を行う。			
■ 20.2.27 <u>追</u> 鋼製書架及び 物品棚	施工箇所 種類 規格等 耐荷重による種類 ※ 図示 ・ 3種 は (要位量 h / 40以下) ・ 水平荷重((要位量 h / 40以下) ・ 水平荷重(実位量 h / 40以下) ・ 水平荷重(実位量 h / 40以下) ・ 水平荷重(実位量 h / 40以下) ・ 水平荷重(まる ・ 3種 ・ 2種 ・ 3種 ・ 2 ・ 3種 ・ 2 ・ 3種 ・ 2 ・ 3種 ・ 2 ・ 3種 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・	■ 20.2.39 <u>追</u> 機械基礎	る。 2) スラプ貫通タイプの場合は耐火認定品とする。 a) 通気管ハト小屋、アンテナ基礎(VHS、UHS、BS、CS用)、避雷 針基礎、設備 機器基礎は意匠図・構造図・設備図参照のこと。	■ 25.1.3 性能 追 見本等	a) 設計用地震力・設計用風圧力に対して倒壊・脱落・破損等がないものとする。 b) 仕上材は、工事に先立ち見本を提出して監理者の承認を受ける。 c) 設計図書に基づき、現場実測による確認の上、必要な製作図・施工図を作成し監理者の承認を受ける。			
□ 20.2.28 <u>追</u> 郵便受箱	スチールラックKU 同等品以上 a) メーカー名、品番 : b) 型式 ・埋込型 ・壁付型 ・自立ポール型	■ 20.2.40 ュアコンスリーフ*	a) 仕様・サイズ等 : b) 箇所数・適用等 : a) 材種 ・ メラミン樹脂板ポストフォーム ・ 人工大理石 ・ 天然石		d) 実物見本、モックアップ等の製作・取付けは、次による。 ・ 実物見本 (・ 設計図による) ・ モックアップ (・ 設計図による) ※ 製作しない			
集合郵便受 (1) 20.2.29 <u>追</u> 宅配便ロッカー	c) 個数・施工箇所・大きさ※ 図示 a) メーカー名、品番 : ※ インターホンに着荷信号送り可能なタイプとする。	洗面カウンター	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		e) サインの取付位置を示した配置図及び一覧を作成し、監理者の承認を受ける。監理者の指示がある場合には、壁面への取付高さ・位置・大きさ・視認性に関連する周辺設備類を明示した展開図を作成する。図面上検討した取付位置に障害物がないか、また視認性が適切であるかどうか事前に現場			
□ 20.2.30 追	b) 型式 ・ 埋込型 ・ 壁付型 c) 個数・施工箇所・大きさ※ 図示 a) 旗ボールの材質・形式 ・ アルミ製テーパー型滑車内蔵式 ・ その他	□ 20.2.42 追 ユニットハ*ス ユニットシャワー	a) メーカー・品番・仕様 : b) 箇所数・適用等 :		確認する。 f)表示面に点字を施す必要がある場合は、機能面及び美観面で表示面の素材に適した技法を選択し現物のサンプルを製作した上で、監理者の承認を受ける。			
旗竿 旗竿受金物	1	□ 20.2.43 追 洗濯機パン ■ 20.2.44 追	a) メーカー・品番・仕様 : b) 箇所数・適用等 : a) メーカー・品番・仕様 : TOTO YH702同等品以上	■ 25.1.4 追 関連法規、	a) 工事の施工・サインの使用開始等に必要な官公署その他への手続きは、 受注者等が速やかに行う。 b) 建築基準法・消防法・広告物条例その他関係する法令や指針を事			
□ 2 0. 2. 3 1 追	・ ステンレス製SUS304 市販品 ・ その他 g) 地業 ※ 図示 a) 車止め支柱 ・ ステンレス製 (上下式鎖内蔵型) 径114.3mm H=700	へ°-ハ°-ホルダ- ■ 20.2.45 追 ベビーチェア	b) 箇所数・適用等 : a) メーカー・品番・仕様 : TOTO YKA15R同等品以上 b) 箇所数・適用等 :	官公署その他への手続き	前確認の上必要に応じて官庁打合せを行いこれを厳守する。 c) サいは電気設備技術基準の内線規程及び配線規定(資源エネルギー庁)に適合するよう施工し、電気用品取締法の適用を受けるものは型式認定済みのものを使用する。但し制限外申請によって認可された			
車止め支柱	・ スプリング式 ・ スプリング無し ・ 埋込式 ・ チェーン付 ・ 鋳鉄製 () ・ アルミ鋳物製 () ・ メーカー名・品番:	■ 20.2.46 追	a) メーカー・品番・仕様 : TOTO YKA41同等品以上 b) 箇所数・適用等 :		ものは、この限りではない。 d) JIS・JEC(電気規格調査会標準規格)・JEM(日本電気工業会標準規格)に規定のあるものは、これに適合したものを使用する。 電照式サインに用いる光源は、次による。			
		■ 20.2.47 追 小便器手すり ■ 20.2.48 追	a) 仕様・サイズ等 : TOTO T112CU2同等品以上 b) 箇所数・適用等 : a) メーカー・品番・仕様 : TOTO - 同等品以上		※ 白色ラピットスタート、省電力型安定器付 ・ 高輝度LED ・ 設計図による			
■ 20.2.32 <u>追</u> コーナーガード	施工箇所 種類 寸法 (mm) 備考/メーカー名・品番 ○ 図示 ○ スチール製 図示 ○ 図示 ○ 木製(塗装仕上) 図示 ・ 鋼板製(塗装仕上)	洗面器手すり ■ 20.2.49 追 化粧鏡	b) 箇所数・適用等 : a) 仕様・サイズ等 : TOTO YM4560A同等品以上 b) 箇所数・適用等 :		a) ベビーチェア (YKA15R) 、フィッティングシート (YKA41) 、 小便器手すり (T112CU2) 、手すり、化粧鏡 (YM4560A) 、 ベビーシート (YKA25R) 、ベビーチェアー (YKA15R)			
	・ 合成3 ¼製 (市販品) ・ 7ル<製	■ 20.2.50 追 ベビーシート	a) メーカー・品番・仕様 : TOTO YKA25R同等品以上 b) 箇所数・適用等 :	■ 26.1.3	a) XA02通り、壁ALC開口 (B工事) は、 縦材としてL-90×90×7をALC上端~下端とし、 横材としてL-65×65×6を縦材間に設置とする。			
木更津	市 市民部 市民活動支援課	· 工事	(仮称)市民交流プラザ 内装・書架・什器等整備工事	図面名称	建築特記仕様書(5)	縮戶	2023/03/31	A-05
<u> </u>			1					

B. 面積表



	フロア	番号/部屋名	面積	備考
		① 風除室	① 13.18m²	
		② POPUP/物産/地域情報/EVホール	② 98.99m²	
		③ 市民活動支援センター	③ 9.26m²	
		④ 事務所	4 8.08 m²	
		⑤ カフェ区画	⑤ 42.98m²	
		⑥ ラウンジ(吹抜含む)	6 194.40 m ²	
	2F	⑦ ラウンジ(吹抜部のみ)	⑦ 104.04㎡	
		⑧ サテライトスタジオ	8 9.91 m ²	
		⑨ ワークラウンジ(イベントスペース)	9 51.60m²	
		⑪ ラウンジ・コワーキング、スヘ゜ース	10 14.38 m²	
		① バックヤート	① 48.09m²	
		⑫ キッス・スペ゚ース(イヘ゛ントスペース兼用)	1 115.75 m 115.75 m	
		③ トイレ	③ 82.93m²	
		14 廊下	4 55.90 m²	
		小計	745.44m ²	
		① EVホール	① 21.73m²	
面積表		② クリエイティフ・スペース(ラウンシ・)	② 56.10m ²	
		③ クリエイティフ・スペース(ラウンシ・以外)	③ 139.34m²	
		④ 多目的ホール	4 251.40m²	
		⑤ 多目的ホールバックヤード	⑤ 23.64m ²	
		⑥ バックヤード	6 24.12 m ²	
		⑦ 貸室1	⑦ 36.00 m²	
	3F	⑧ 貸室2	8 36.51 m²	
		9 貸室3	61.40 m²	
		⑩ 貸室4	10 63.34m²	
		① 3Fラウンシ・ホール(ホワイエ機能)	① 123.55m²	
		⑫ コワーキングスペース(集中)	① 77.46㎡	
		③ コワーキングスペース(オープン)	③ 132.35m²	
		14 廊下	(14) 139.62 m²	
		⑤ 廊下	(15) 36.89 m²	
		16 トイレ	16 55.59 m ²	
		小計	1279.04	
	合計		2024.48	

※面積 壁芯算出:小数点3以下切り下げ

| 木更津市 市民部 | 市民活動支援課 | 工事名称 | (仮称)市民交流プラザ | 内装・書架・什器等整備工事 | 図面名称 | 面積表 | 2023/03/31 | No. **B-01**

C. 仕上表

	が内装・書架・作	T	<u> </u>	++		□ +		17 III	₹ 75. #11			<u>1;++ →+</u>
室名	天井高(仮定)	下地	床 仕上げ	巾木	下地		Ť	柱型	梁型	下地	天井 仕上げ	
風除室	CH2800	M	外装用タイル敷き	タイル巾木 H=100	LGS	PBt=12. 5+9. 5 2	枚貼+EP塗装			LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
POPUP/物産	0110000	下地	仕上げ		下地	仕上!	Ť			下地	仕上げ	EV扉:シート貼
地域情報エリア 2FEVホール ラウンジ 廊下	CH2800 窓際(天井スケルトン) CH7590(吹抜部)	M	耐水合板t=15+ 天然木複合フローリング	木巾木 H=100	LGS	PBt=12. 5+9. 5 2	枚貼+EP塗装			LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装 吹抜部:格天井30×50格子貼 格子内部 オーク、サットプラスト加工、染色+艶消しCL 一部:天井ミラー貼	天井現しスケルトン部:配管設備等 必要箇所ラッキング等保護の 窓サッシュ側:ウッドブラインド及びロールスク プラインドボックス(指定色塗装
		下地	仕上げ		下地	仕上!	Ť			下地	仕上げ	
サテライトスタシ゛オ	CH2800	M	耐水合板t=15+ タイルカーペット	木巾木 H=100	LGS	PBt=12. 5+9. 5 2					天井現しスケルトン:配管設備等塗装 必要箇所ラッキング等保護の上	
+a* a. ° a		下地	仕上げ	+++	下地	仕上!	Ť			下地	仕上げ	窓側壁:特注クロス貼 イペントスペース兼用側:フローリング/
キッズスペース 兼イベントスペース	CH2800 一部折上天井: CH3000	М	耐水合板t=15+タイルカーペット 耐水合板t=15+天然木複合フローリング	木巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2 PBt=12.5+9.5 2枚則				LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	常時キッス、スペース:タイルカーペット 可動間仕切り: フェローウォール80 (オカムテ) 同窓サッシ℡側: ウッドブラインド及びロールスクリーン プラインドホックス(指定色塗装)
ナロバもナゼ		下地	仕上げ		下地	仕上!	Ť			下地	仕上げ	窓側壁:特注クロス貼
市民活動支援センター	CH2800	М	耐水合板t=15+タイルカーペット 耐水合板t=15+天然木複合フローリング	木巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2 PBt=12.5+9.5 2枚則				LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	イベントスペース兼用側:フローリンク 常時キッズスペース:タイルカーペッ
		下地	仕上げ		下地	仕上(Ť			下地	仕上げ	窓側壁:特注クロス貼
事務室	CH2800	М	耐水合板t=15+タイルカーペット 耐水合板t=15+天然木複合フローリング	木巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2 PBt=12.5+9.5 2枚貝				LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	おいまして
		下地	仕上げ		下地	仕上!	Ť			下地	仕上げ	
トイレ内廊下	CH2800	М	磁器質タイル敷き	タイル巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚§	钻+磁器質タイル貼			LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
		下地	仕上げ		下地	仕上(Ť			下地	仕上げ	
多目的トイレ	CH2800	М	磁器質タイル敷き	タイル巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚	貼+磁器質タイル貼			LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
		下地	仕上げ		下地	仕上(Ť			下地	仕上げ	
便所(男)	CH2800	М	磁器質タイル敷き	タイル巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚	貼+磁器質タイル貼			LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
		下地	仕上げ		下地	仕上!	Ť			下地	仕上げ	
便所(女)	CH2800	М	磁器質タイル敷き	タイル巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚5	貼+磁器質タイル貼			LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
		下地	仕上げ		下地	仕上(Ť			下地	仕上げ	
おむつ替 授乳室	CH2800	М	磁器質タイル敷き	タイル巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚	貼+磁器質タイル貼			LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
		下地	仕上げ		下地	仕上(ナ			下地	仕上げ	
ハ゛ックヤート゛	CH2800	М	耐水合板t=15+ 塩ビタイル	ソフト巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2	枚貼+EP塗装			LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
		下地	仕上げ		下地	仕上(Ť			下地	仕上げ	ガリーフトラップの左無
カフェカウンター内	CH2800	М	耐水合板t=15+ アンダーレイシート+長尺シート	ソフト巾木 H=100	LGS	PBt=12. 5+9. 5 2	枚貼+EP塗装			LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	グリーストラップの有無、 防水区画の有無等の各必要機能に 仕上げ/下地の仕様要調整
		下地	仕上げ	ソフト巾木	下地	仕上!				下地	仕上げ	
カフェハ゛ックヤート゛	CH2800	М	耐水合板t=15+ アンダーレイシート+長尺シート	H=100	LGS	PBt=12. 5+9. 5 2	枚貼+EP塗装			LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	防水区画の有無等の各必要機能に 仕上げ/下地の仕様要調整
 5膏ボード	GB-F	強化	と石膏ボード FS フレニ	キシフ゛ルホ゛ート゛	LGS 軽	量鉄骨	C コンクリート	 下地	OSCL #1	ルステイン・ケ	リリアーラッカー塗 EP-G つち	
n n 耐水石膏ボ					I		1	地(既存)				技樹脂調合ペイント塗
ルバロ 買水 と粧石膏ホ	-	- 1	RW音板 ST Af-	*	'		I	コテ補修(新規)				樹脂エナメル塗
	-r bit i膏ボード FK	- 1	ゅうびょう がく はい	-					1 1 1			
15 <u>34 10 mm</u> 1				21.7	GW り	ラスウール	/ 九末 //女 4	節囲は平面図参照	র) IAEP アク		ニマルションペイント塗 FUE 常温	温乾燥フッ素樹脂エナメル塗

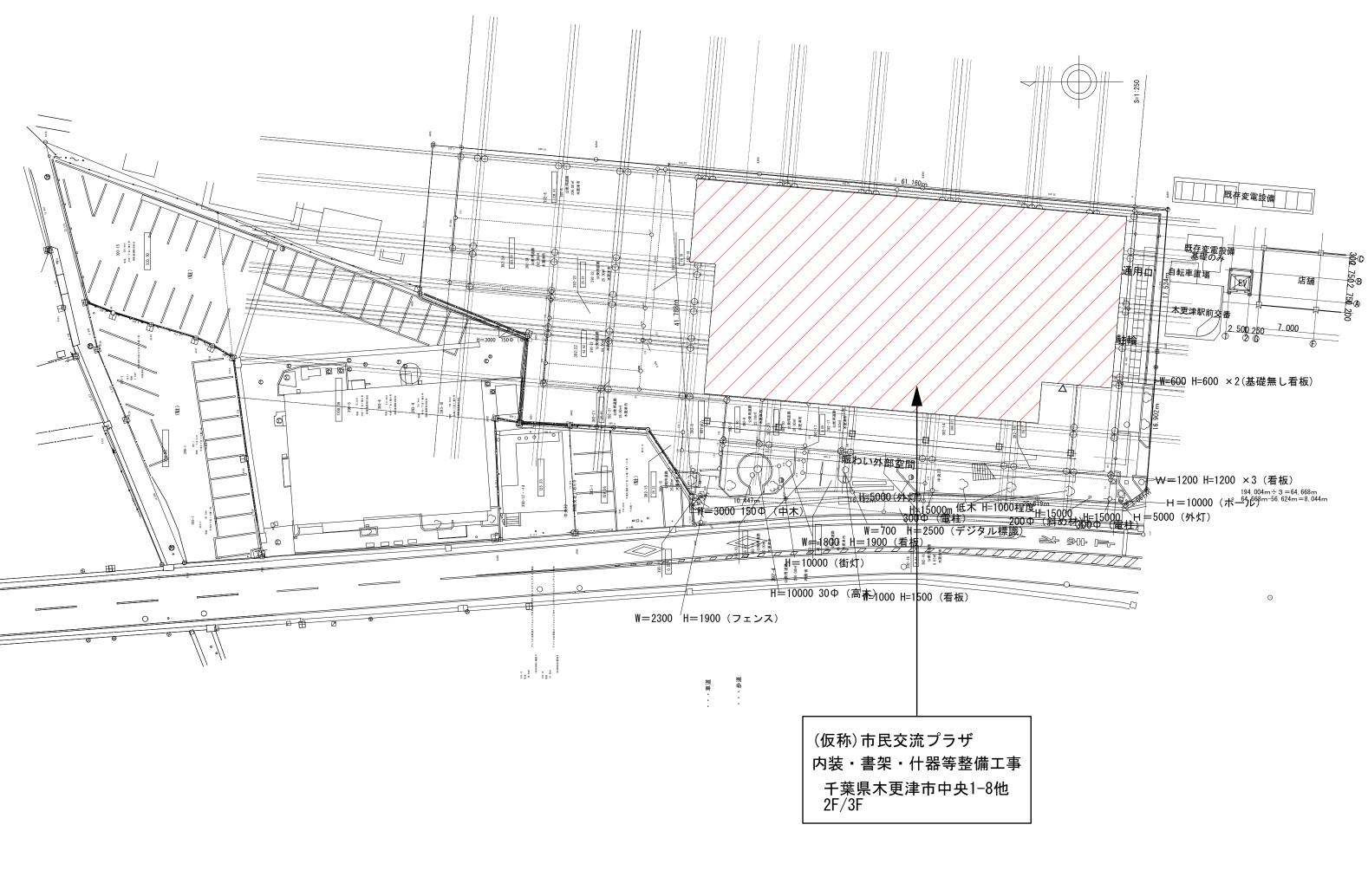
※A工事 床:金鏝押さえFL-50 / 壁(外壁廻り):断熱材吹付まで / 天井:デッキスラブ現し / 柱:耐火被覆まで(提出時)
※居室の内装、天井裏、木製建具、造り付け家具及びそれらに使用する内装材はすべてF☆☆☆☆又は、規制対象外種建材を使用する。
※内外装に使用する材料については、石綿その他著しく衛生上有害なものとして政令で定める物質を添加していないものとする。
※本図書は建築基本設計前にあたるので、建築基本設計前にあたり、下地/仕上げ等改めて建築基準法及びその他関連法案について確認し順守するよう調整すること。
※カフェ区画内の各種仕様については、テナント確定時に改めて確認すること。上記仕様については仮定とする。
※天井高は建築基本設計後に調整し設計すること
※大月には日地タイプとし、天井と同素分化上げ。ことでも構造安全上必要な仕様については設計者、施工担当者に確認の上施工を行うこと。
※カフェ区画内の各種仕様については、テナント確定時に改めて確認すること。上記仕様については仮定とする。
※天井高は建築基本設計後に調整し設計すること
※大井高は建築基本設計後に調整し設計すること

No. C - 01縮尺 2023/03/31

室名	天井高(仮定)	HH 13 112 1	備工事 床	巾木		 壁	柱型	梁型		天井	備考
EVホール	ノヘノ PJ \ 以 (に)	下地	仕上げ		下地	<u>単</u> 仕上げ	11年		下地	仕上げ	EV扉:シート貼
廊下 クリエイティブスペー: ラウンジ	CH2800 一部折上天井: CH3000	М	耐水合板t=15+ 天然木複合フローリング	木巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗	装		LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	窓サッシュ側:プラインド及びロールスクリーン プラインドボックス(指定色塗装)
コワーキンク゛スヘ゜ース	CH2800	下地	仕上げ	+++	下地	仕上げ			下地	仕上げ	
コリーキング スヘ ーA (オーフ゜ン)	CH2800 一部折上天井: CH3000	М	耐水合板t=15+ 天然木複合フローリング	木巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗	装		LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
		下地	仕上げ		下地	仕上げ			下地	仕上げ	
ホール・ ラウンシ゛	CH2800	M	耐水合板t=15+ 天然木複合フローリング	木巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗	装		LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
		下地	仕上げ		下地	仕上げ			下地	仕上げ	
コワーキンク゛スペース (集中)	CH3000	М	耐水合板t=15+ タイルカーペット	木巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗	装		LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
		下地	仕上げ		下地	仕上げ			下地	仕上げ	
クリエイティフ゛スへ゜ー	CH2800	М	耐水合板t=15+ タイルカーペット	木巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗	装		LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	窓サッシュ側:ブラインド及びロールスクリー: ウッドブラインドボックス(指定色塗物
		下地	仕上げ		下地	仕上げ			下地	仕上げ	
多目的ホール	CH2800	M	ーー・ーー・ーー・ーー・ーー・ーー・ーー・ーー・ーー・ーー・ーー・ーー・ーー・	木巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗	装		LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	窓サッシュ側:ブラインド及びロールスクリー' ウッドブラインドボックス(指定色塗サ
		下地	仕上げ		下地	仕上げ			下地	 仕上げ	必要機能による防音レベルによ
貸室1(防音)	CH2800	M		木巾木 H=100	LGS	ロックウール+PBt=21 2枚貼+遮音			防振	ロックウール+遮音ボード+吸音パネル	下地/仕上げ要調整のこと 左記記入は暫定/目安
		IVI	タイルカーペット	H=100		EP塗装			ハンカ゛ー LGS		窓サッシュ側:ウッドブラインド及びロールスクリ
40-2		下地	仕上げ	*#*	下地	仕上げ			下地 防振	仕上げ	ブラインドボックス(指定色塗装) 必要機能による防音レベルによ 下地/仕上げ要調整のこと
貸室2(防音)	CH2800	М	ロックウール+下地合板t=12 2枚貼+ タイルカーペット	木巾木 H=100	LGS	ロックウール+PBt=21 2枚貼+遮音 EP塗装	-ÿ-ト		ハンカ゛ー LGS	ロックウール+遮音ボード+吸音パネル	左記記入は暫定/目安 窓サッシュ側: ウッドブラインド及びロールスク
		下地	仕上げ		下地	仕上げ			下地	仕上げ	プ・ライント・オ・ックス(指定色塗装)
貸室3/4	CH2800	M	耐水合板t=15+ タイルカーペット	木巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗	装		LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	可動間仕切り:フェローウォール80(オカムテ) 窓サッシュ側:ウッドブラインド及びロールスク ブラインドボックス(指定色塗装)
		下地	仕上げ		下地	仕上げ			下地	仕上げ	
多目的トイレ	CH2800	M	磁器質タイル敷き	タイル巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+磁器質	タイル貝占		LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
		下地	仕上げ	5 4 11 4 4	下地	仕上げ			下地	仕上げ	
便所(男)	CH2800	М	磁器質タイル敷き	タイル巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+磁器質	タイル貼		LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
		下地	仕上げ		下地	仕上げ			下地	仕上げ	
便所(女)	CH2800	M	磁器質タイル敷き	タイル巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+磁器質	タイル貼		LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
		下地	仕上げ		下地	仕上げ			下地	仕上げ	
多目的ホールバックヤード	CH2800	М	耐水合板t=15+ 塩ビタイル	ソフト巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗	装		LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
		下地	仕上げ		下地	仕上げ			下地	仕上げ	
ハ゛ックヤート゛ 廊下	CH2800	М	耐水合板t=15+ 塩ビタイル	ソフト巾木 H=100	LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗	装		LGS	PBt=12.5+9.5 2枚貼+EP塗装	
			温にダイル								
l				1							
石膏ボード	GB-F	強化	石膏ボード FS フレ	キシフ゛ルホ゛ート゛	_GS 軽	量鉄骨C	コンクリート下地	OSCL #1	ルステイン・クリ	Jアーラッカー塗 EP-G つ	
耐水石膏					I .		モルタル下地(既存)			I I	i成樹脂調合ペイント塗
		岩線	¦吸音板 ST スチ	:-J\	PL 7°	ν-ト MH	モルタル金コテ補修(新規)		然保護着	I I	が過間エナメル塗
化粧石膏	אטן א	/ / / / /		**	_ 1			loo in	300 PP D又 P		/ // ×) / II

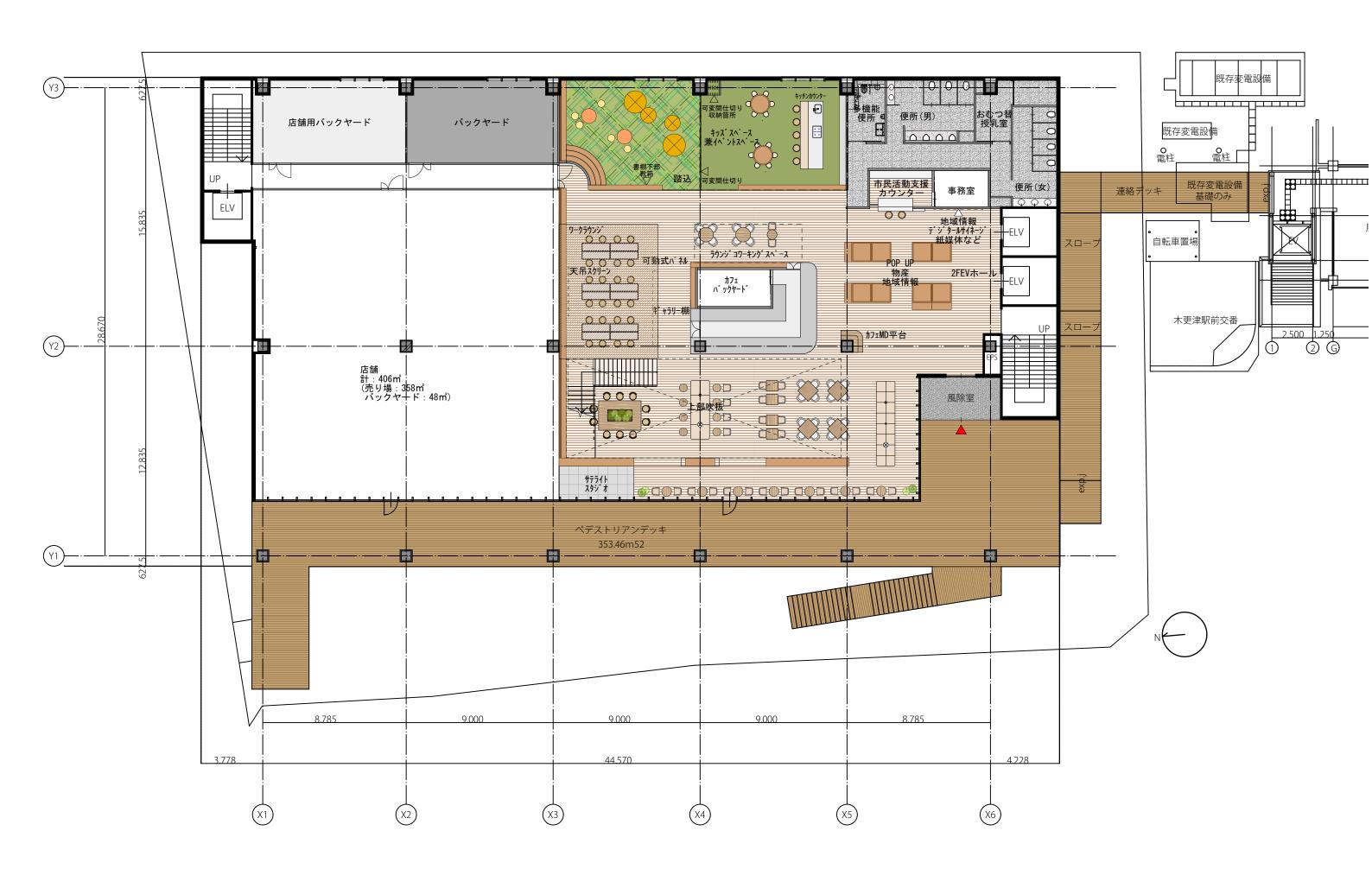
※A工事 床:金鏝押さえFL-50 / 壁(外壁廻り):断熱材吹付まで / 天井:デッキスラブ現し / 柱:耐火被覆まで(提出時)
※居室の内装、天井裏、木製建具、造り付け家具及びそれらに使用する内装材はすべて下☆☆☆☆又は、規制対象外種建材を使用する。
※内外装に使用する材料については、石綿その他者しく衛生上有害なものとして政令で定める物質を添加していないものとする。
※本図書は建築基本設計前にあたるので、建築基本設計時にあたり、下地/仕上げ等改めて建築基準法及びその他関連法案について確認し順守するよう調整すること。
※カフェ区画内の各種仕様については、テナント確定時に改めて確認すること。上記仕様については仮定とする。
※天井高は建築基本設計後に調整し設計すること

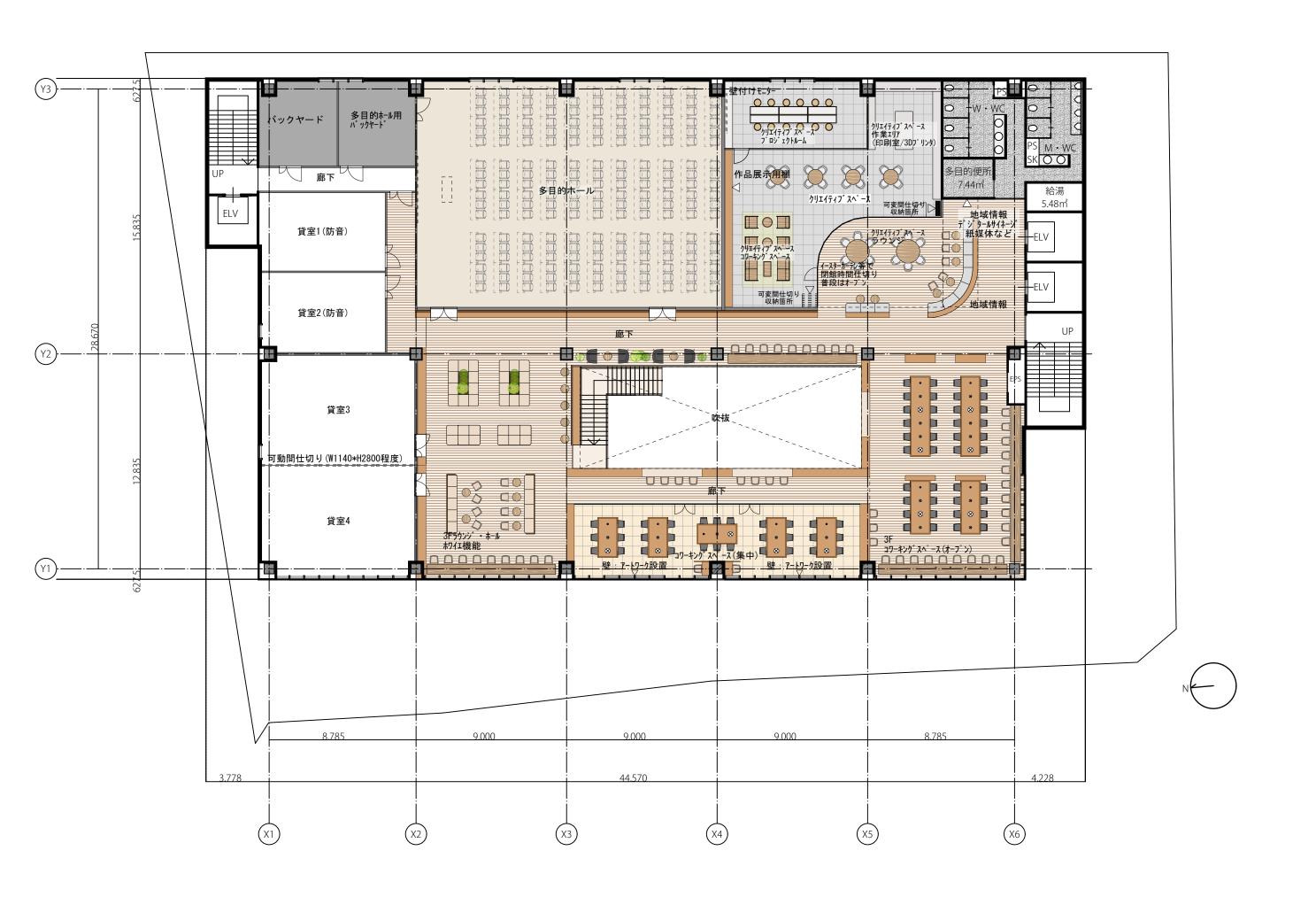
D. 敷地配置図

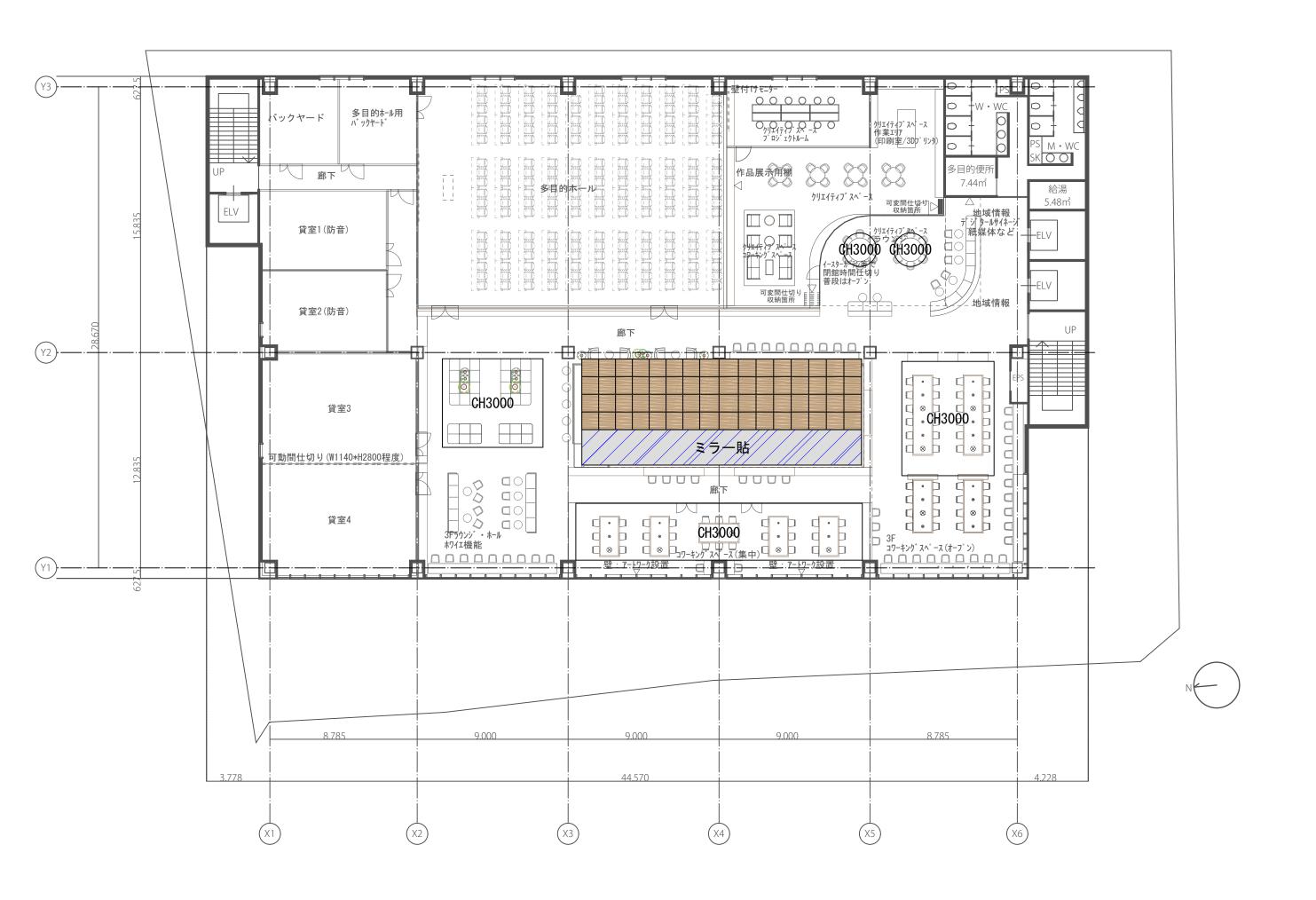


| 木更津市 | 市民部 | 市民活動支援課 | 工事名称 | (仮称)市民交流プラザ | 内装・書架・什器等整備工事 | 図面名称 | 敷地配置図 | 瀬尺 | <u>2023/03/31</u> | No. **D-01**

E. 平面図

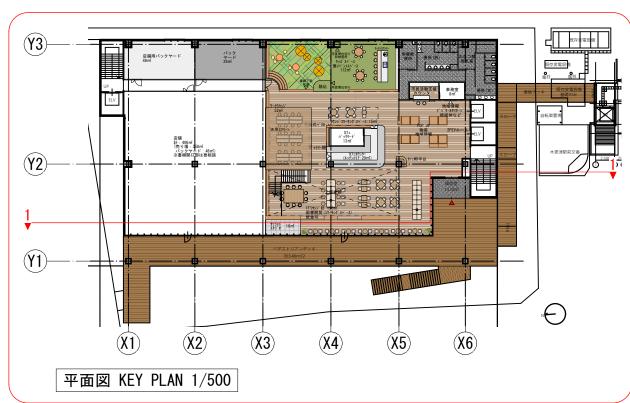


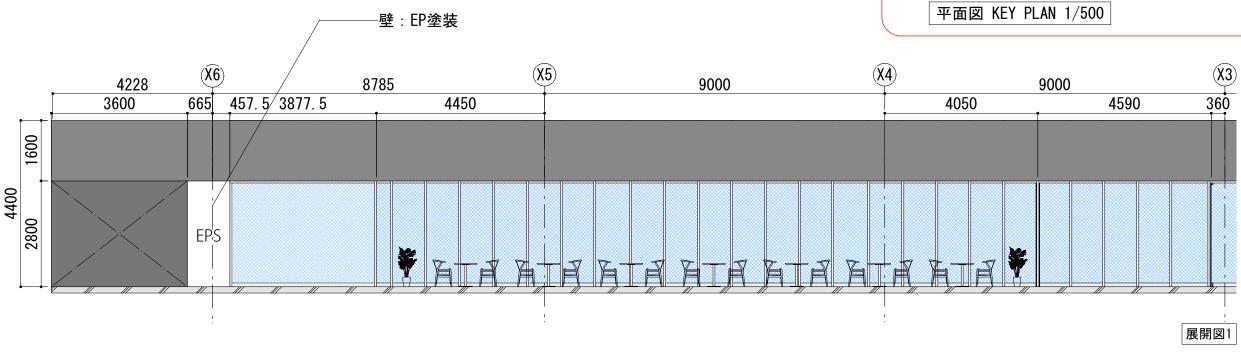




木更津市 市民部 市民活動支援課 エ事名称 (仮称)市民交流プラザ 内装・書架・什器等整備工事	図面名称 3階 吹抜天伏補足図	縮尺 1/200 (A3) No. E-03
--	-----------------	------------------------

F. 展開図





木更津市 市民部 市民活動支援課

工事名称

(仮称)市民交流プラザ 内装・書架・什器等整備工事

図面名称

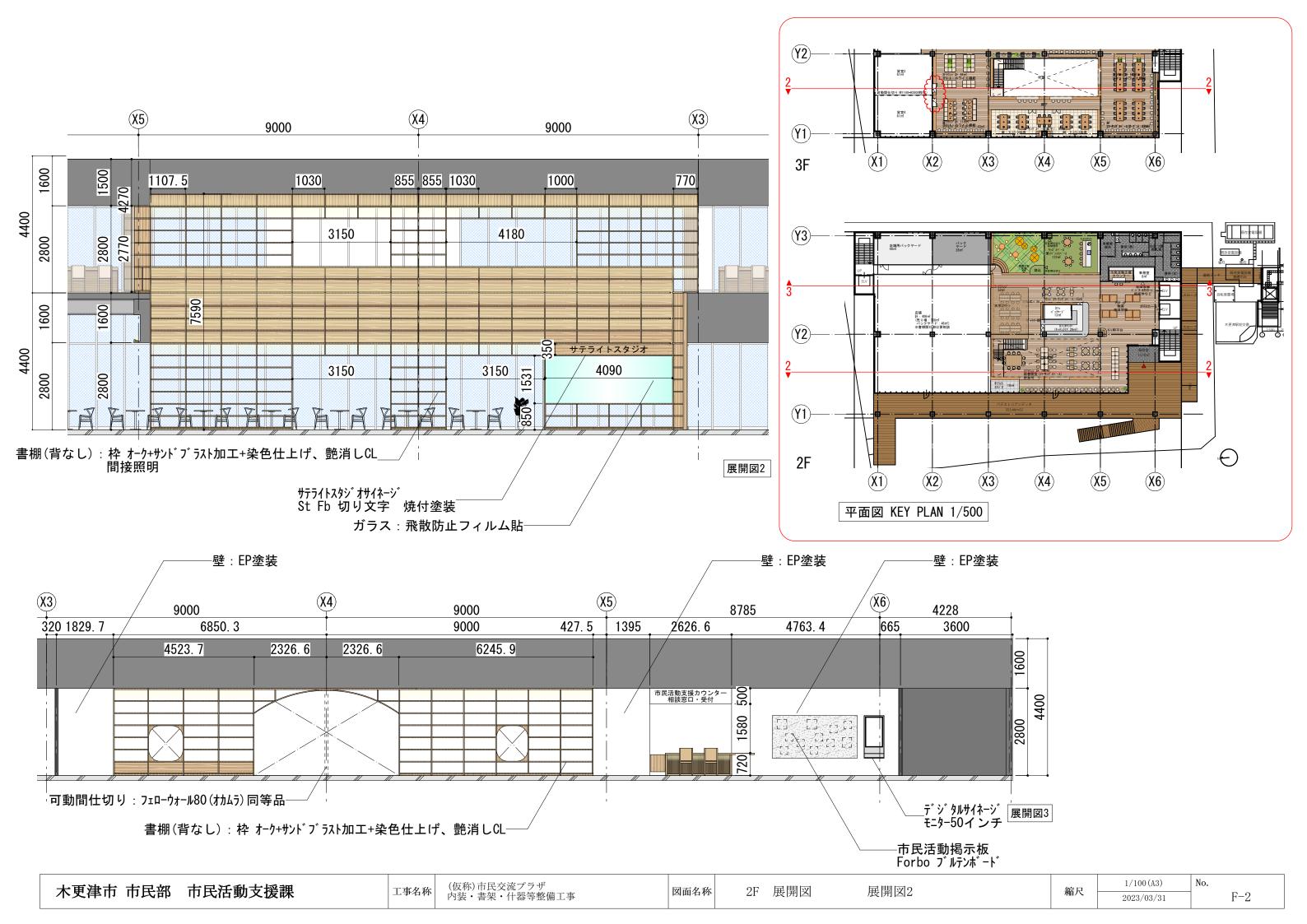
2F 展開図

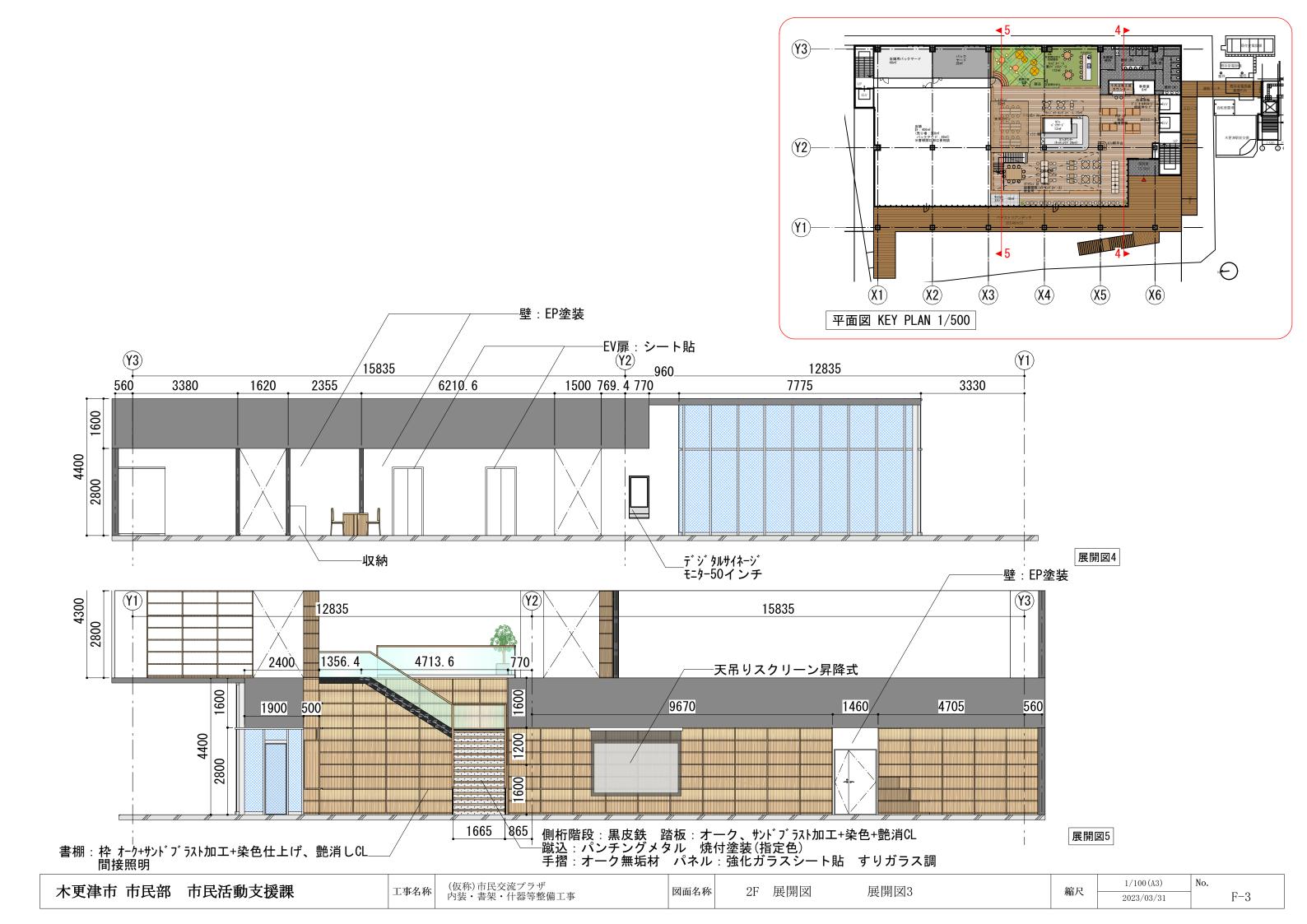
展開図1

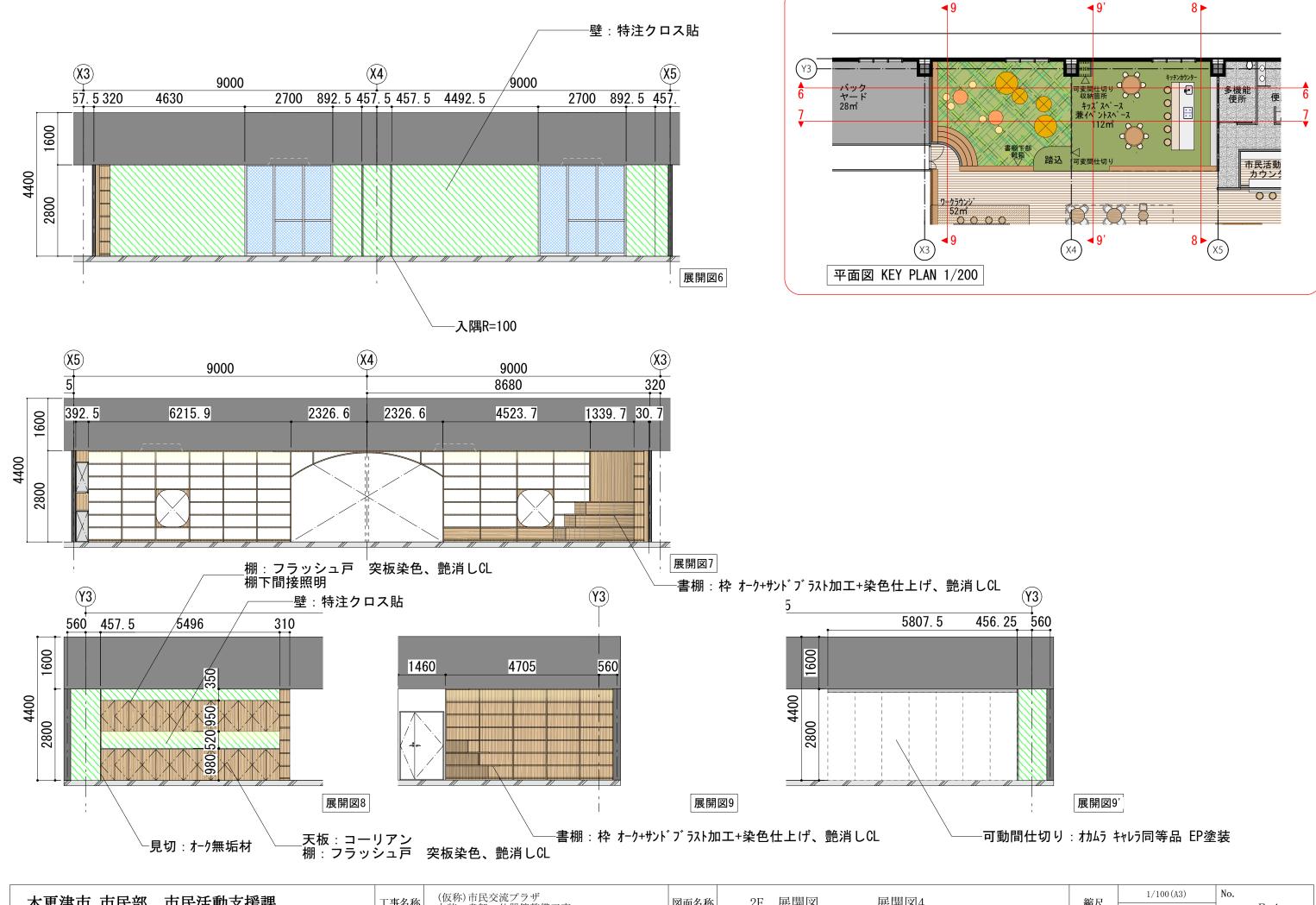
縮尺 1/100 (A3) 2023/03/31

No.

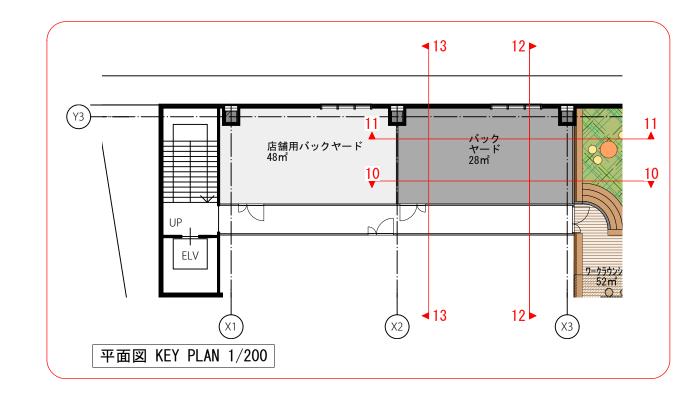
F-1

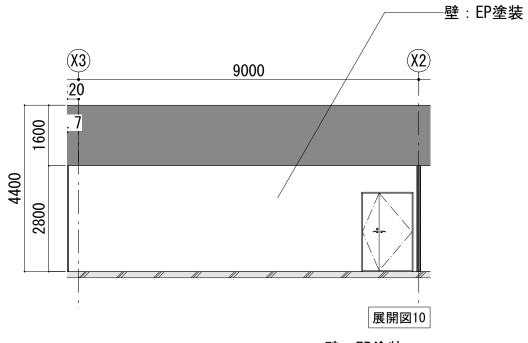


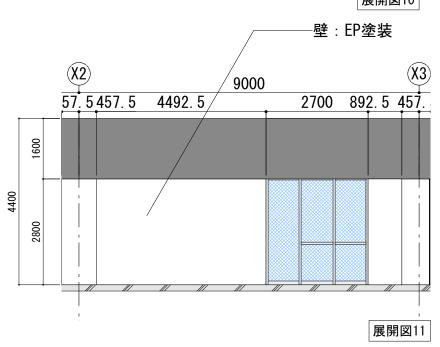


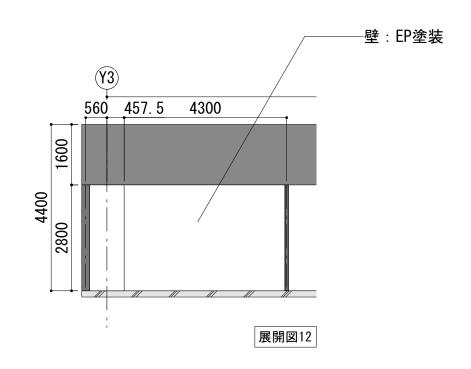


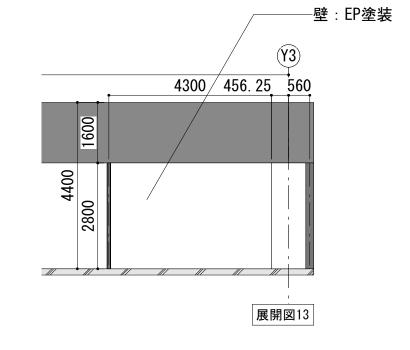
(仮称)市民交流プラザ 内装・書架・什器等整備工事 木更津市 市民部 市民活動支援課 展開図4 工事名称 図面名称 2F 展開図 縮尺 F-42023/03/31



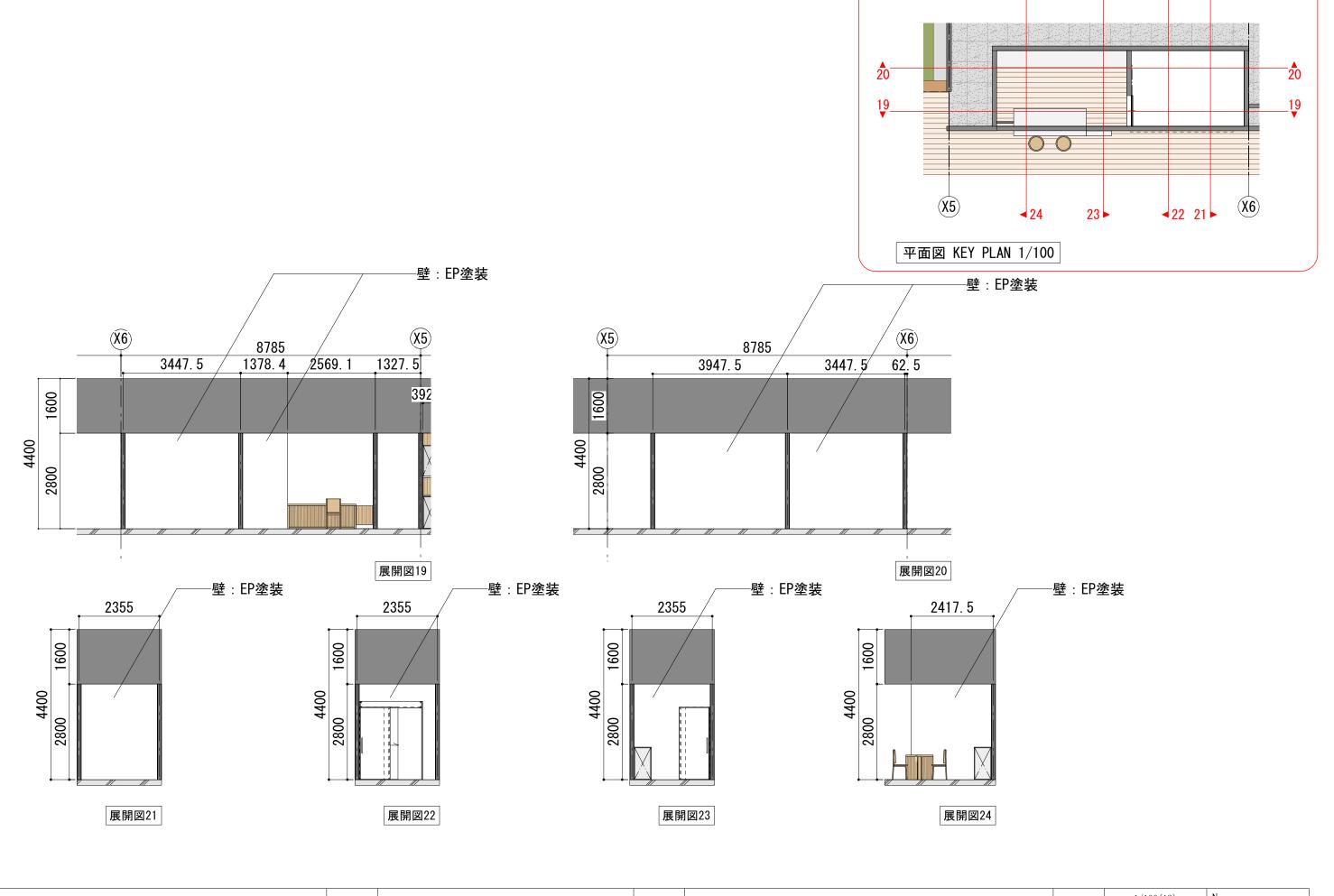








No.



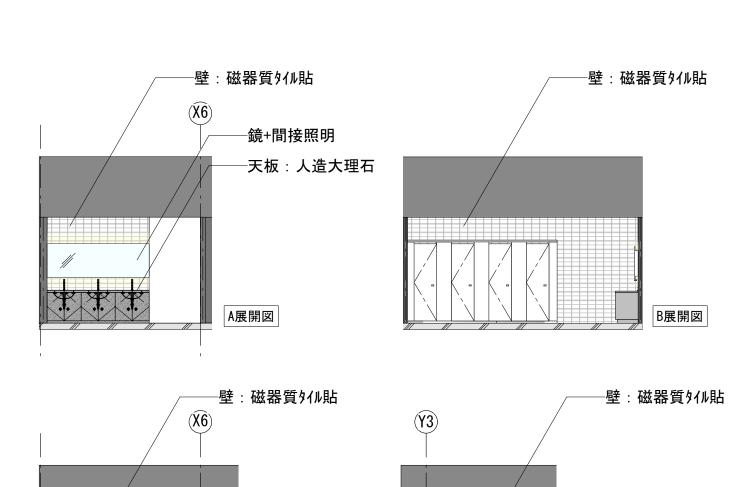
424

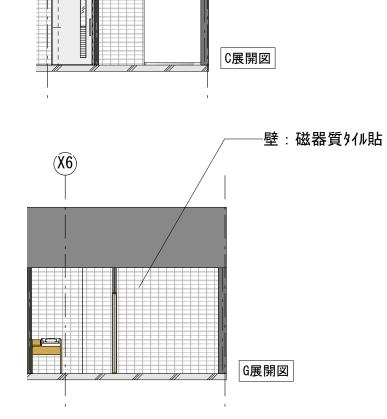
23

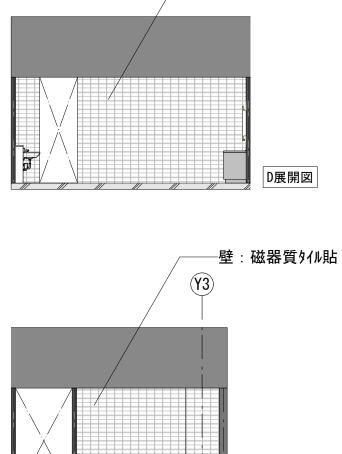
◄ 22 21 ►

木更津市 市民部 市民活動支援課 T=348 (仮称)市民交流プラザ 内装・書架・什器等整備工事 T=348 T=348











F展開図

図面名称

 $(\widehat{X6})$

2F 展開図 (トイレ)

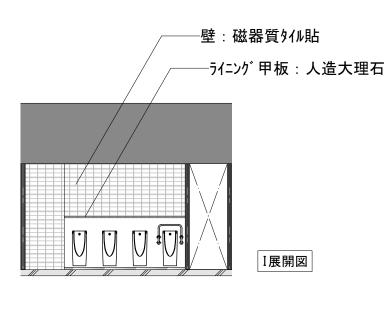
展開図7

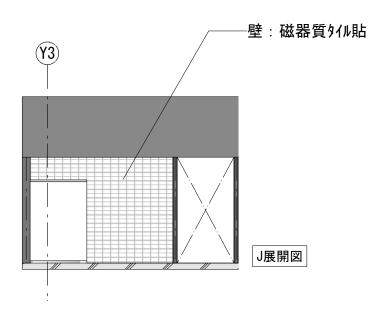
縮尺 1/100 (A3) 2023/03/31

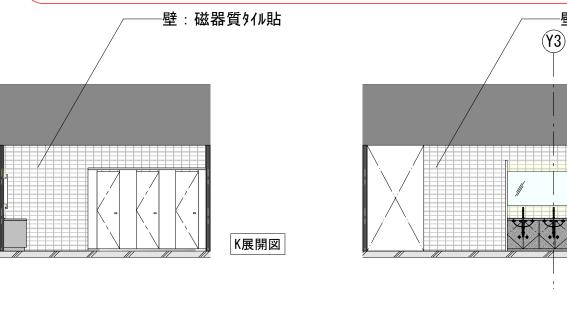
F-7

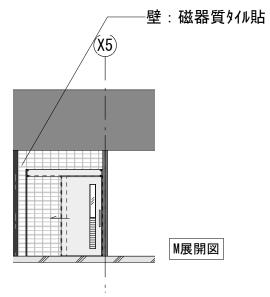
H展開図

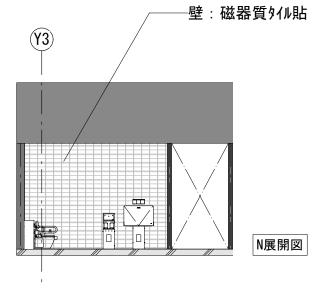


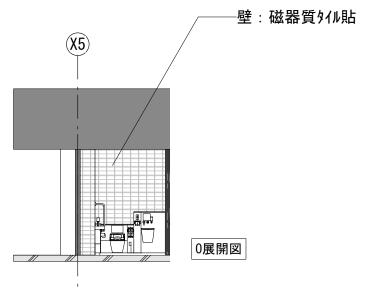


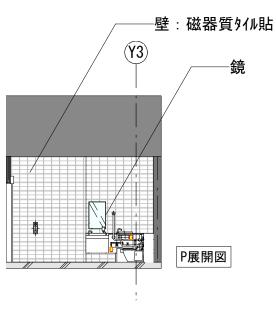












木更津市 市民部 市民活動支援課 工事名称

(仮称)市民交流プラザ 内装・書架・什器等整備工事

図面名称

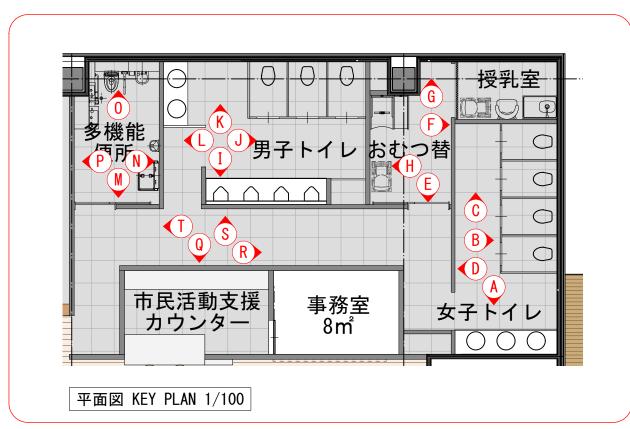
2F 展開図 (トイレ)

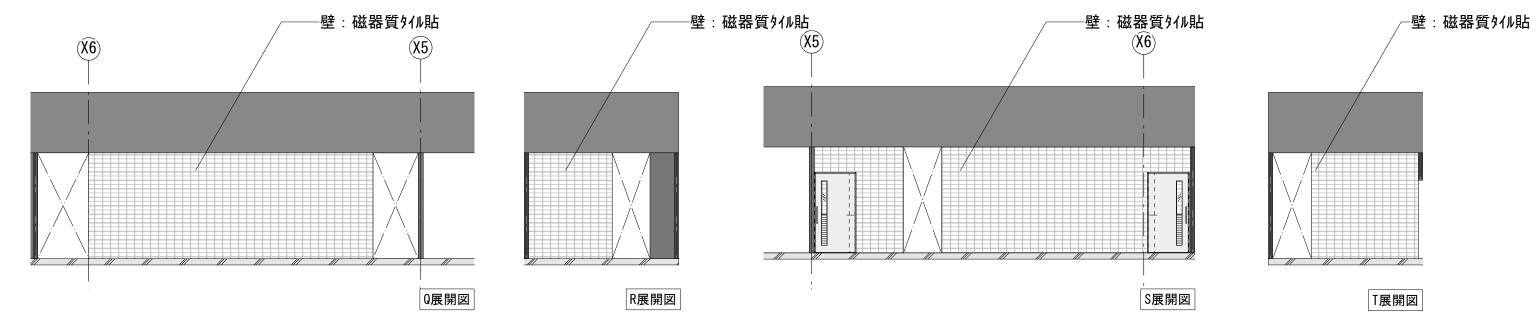
展開図8

1/100 (A3) 縮尺 2023/03/31

F-8

L展開図





木更津市 市民部 市民活動支援課

貼

工事名称

(仮称)市民交流プラザ 内装・書架・什器等整備工事

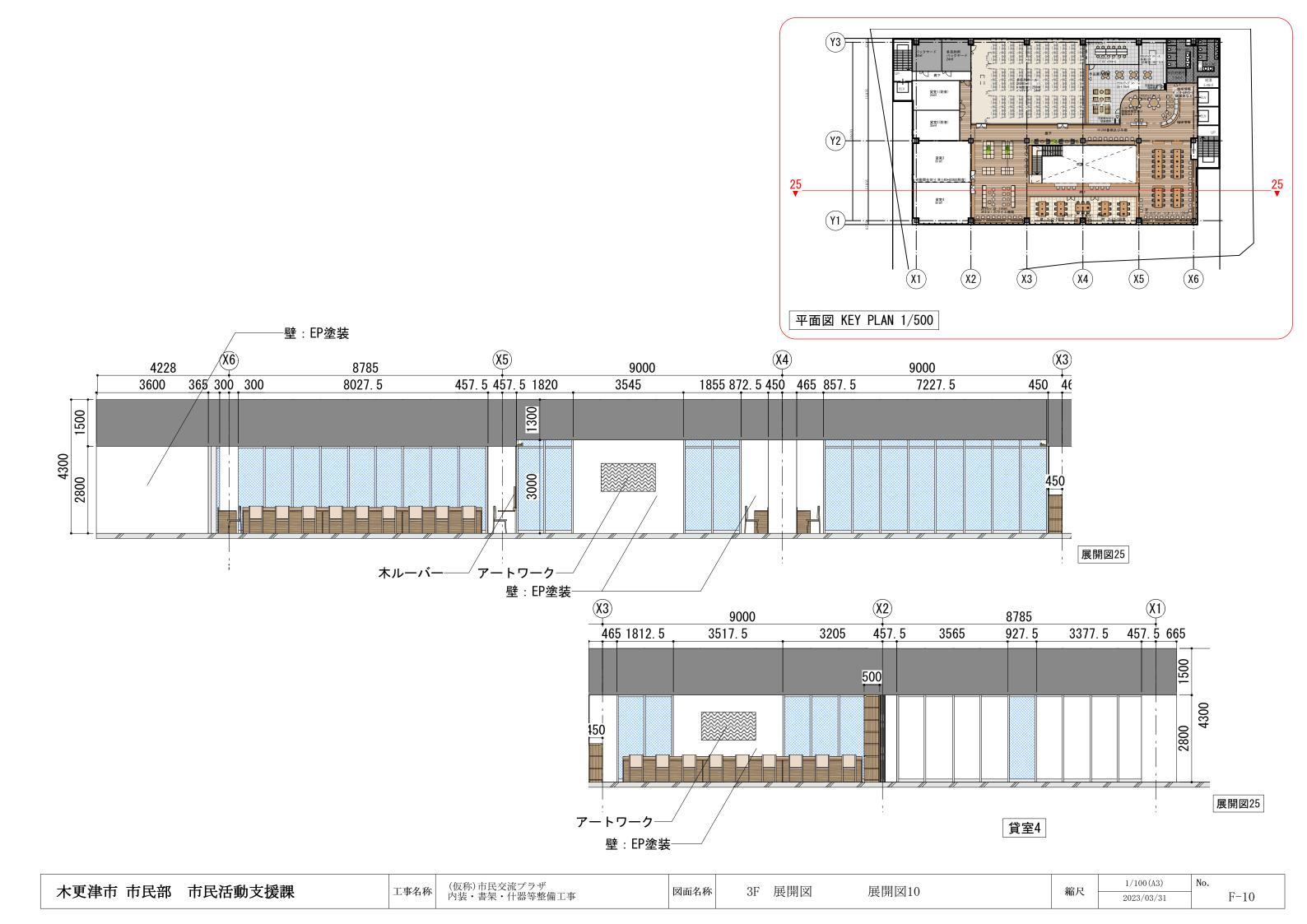
図面名称

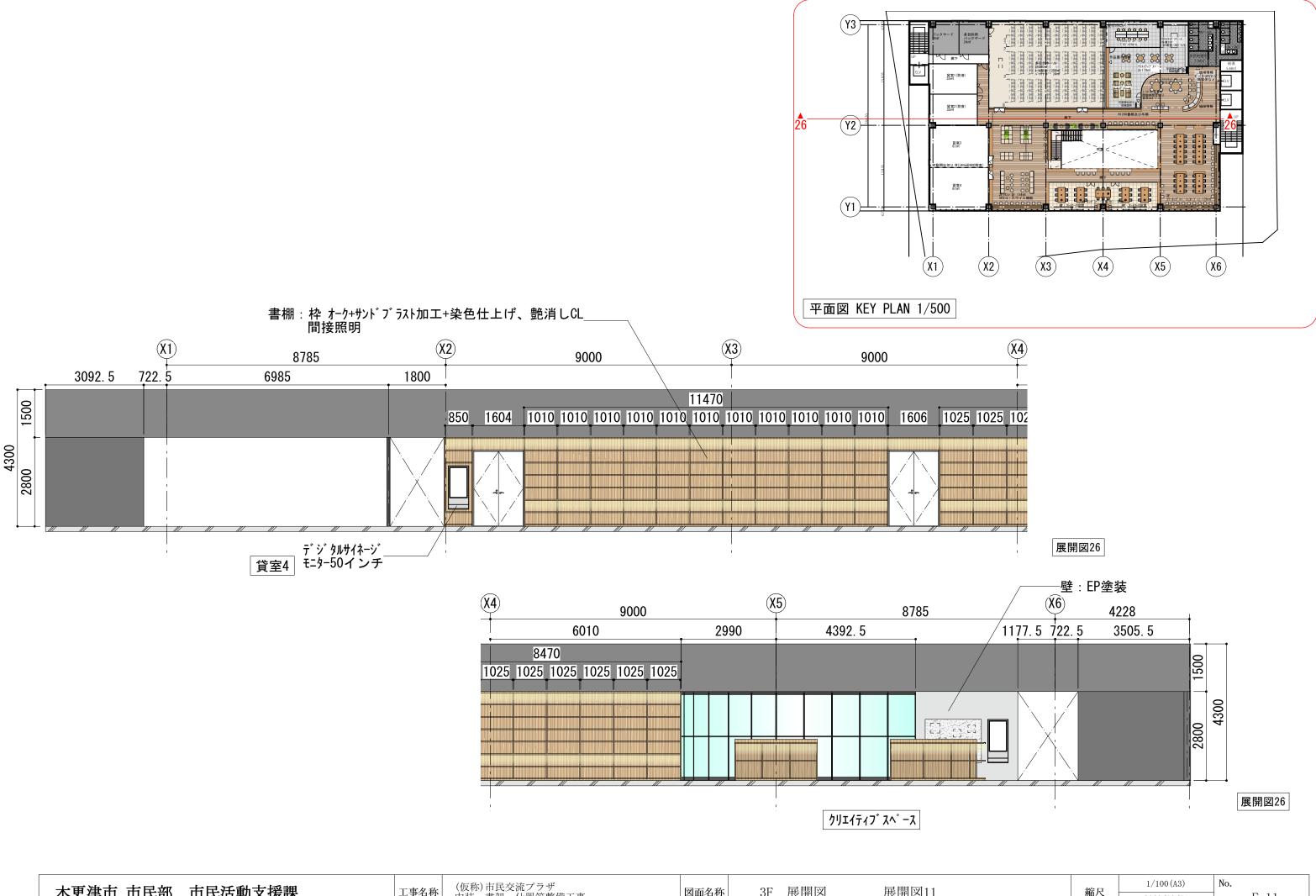
2F 展開図 (トイレ)

展開図9

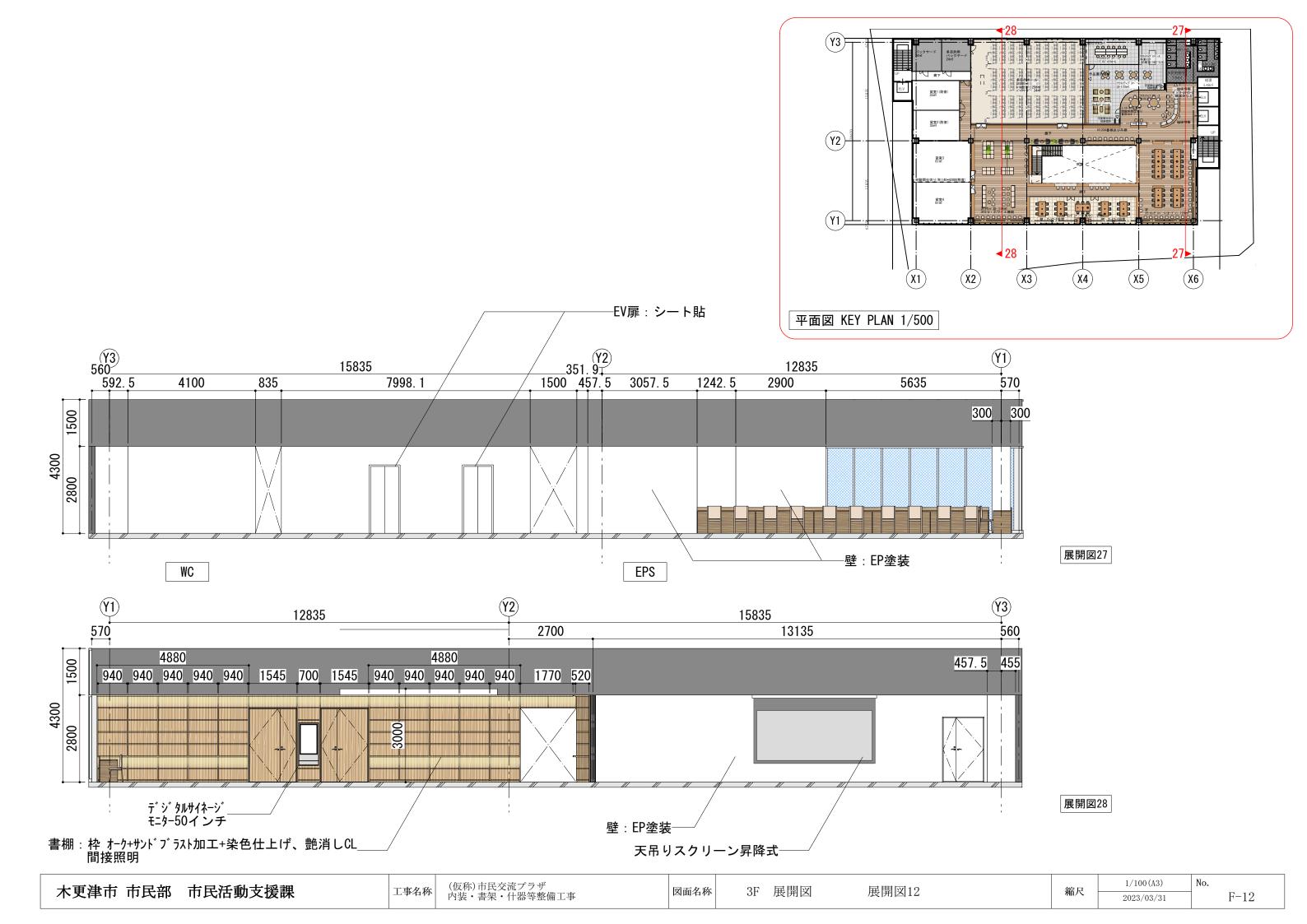
1/100 (A3) 縮尺 2023/03/31

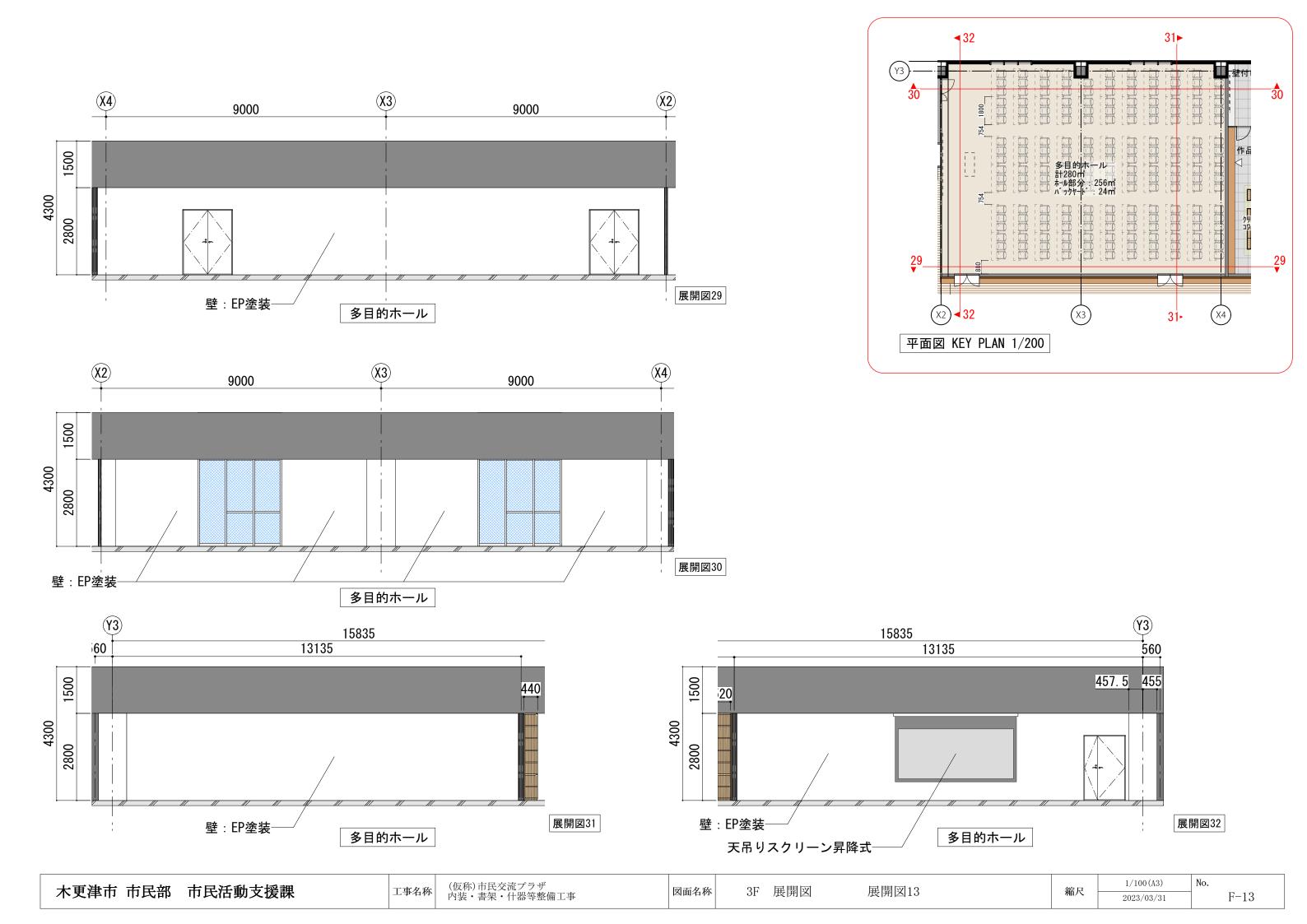
F-9

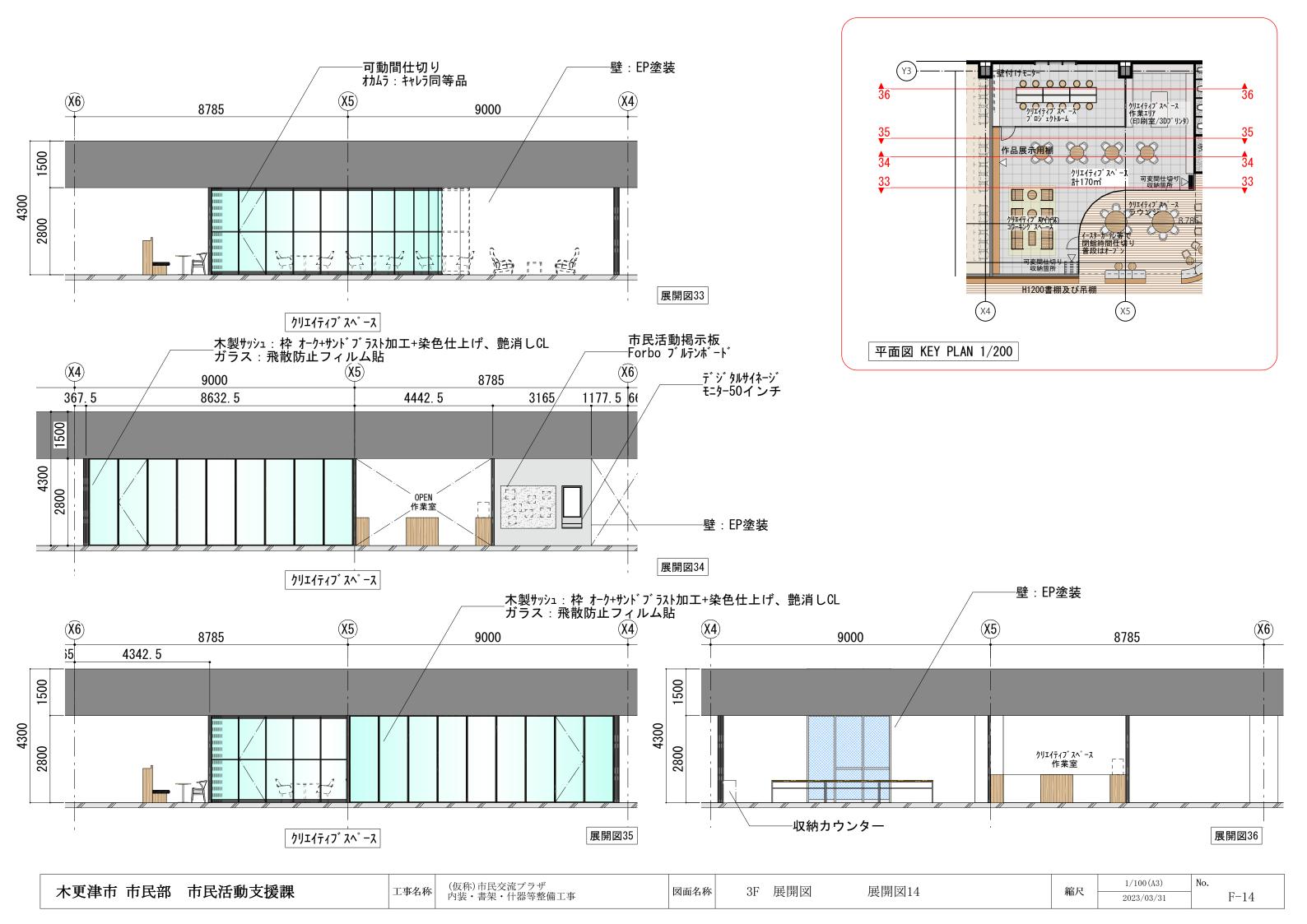


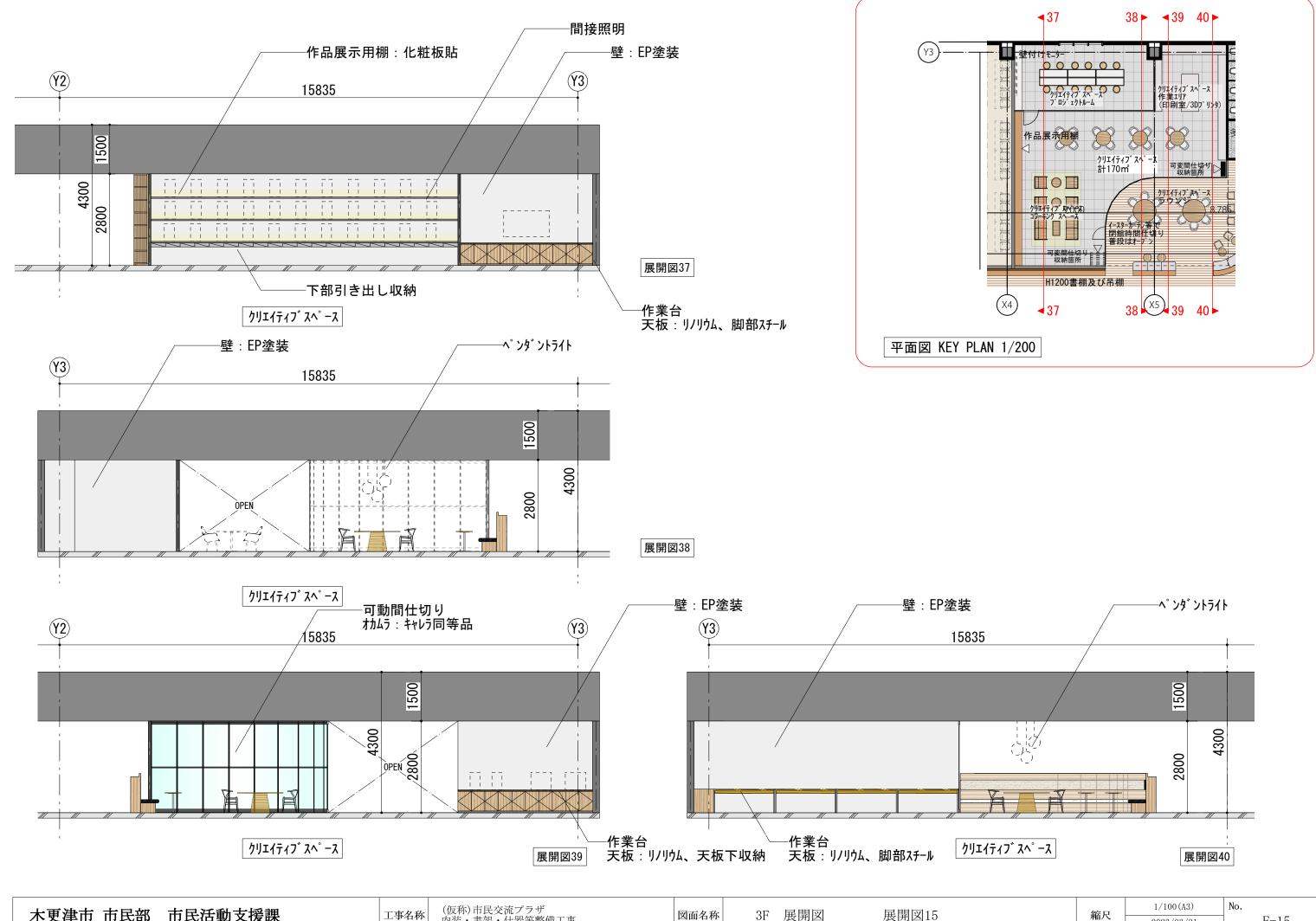


(仮称)市民交流プラザ 内装・書架・什器等整備工事 木更津市 市民部 市民活動支援課 3F 展開図 展開図11 工事名称 図面名称 縮尺 F-11 2023/03/31









木更津市 市民部 市民活動支援課

工事名称

(仮称)市民交流プラザ 内装・書架・什器等整備工事

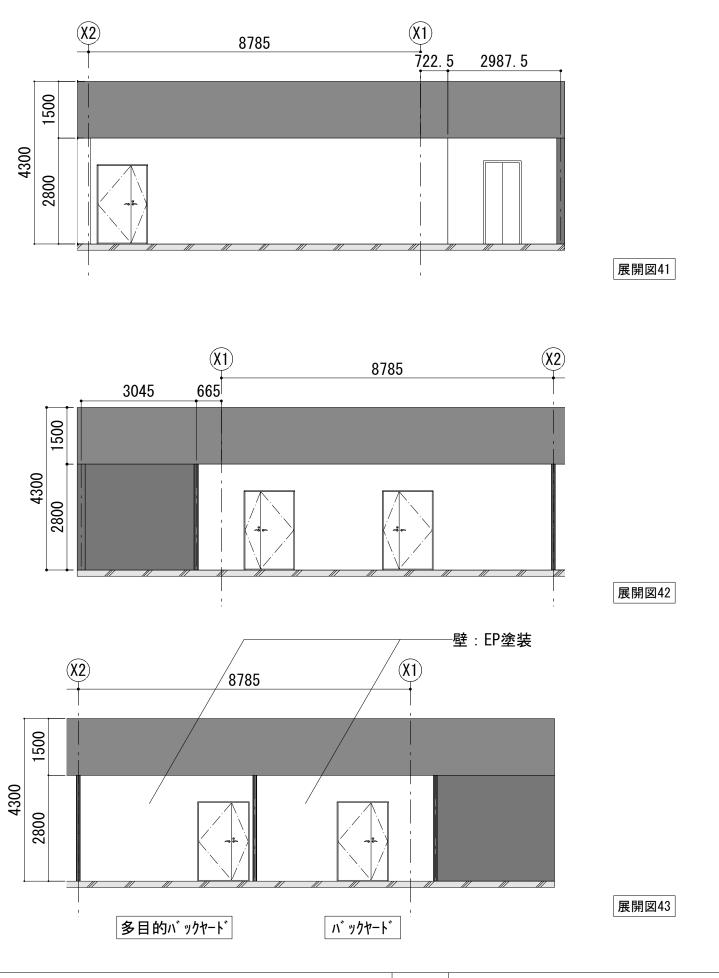
図面名称

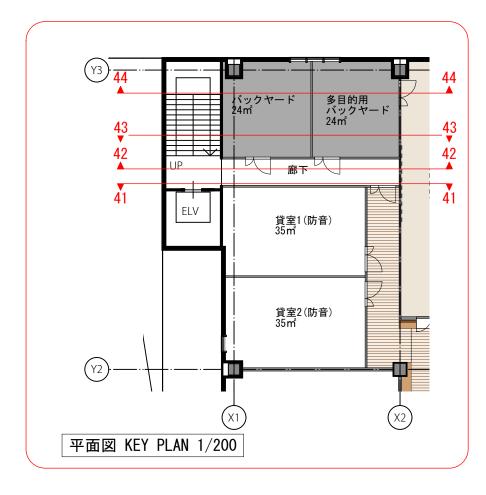
3F 展開図

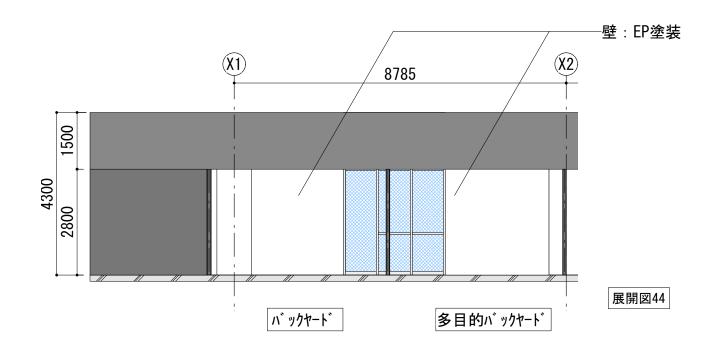
展開図15

2023/03/31

F-15







木更津市 市民部 市民活動支援課

工事名称

(仮称)市民交流プラザ 内装・書架・什器等整備工事

図面名称

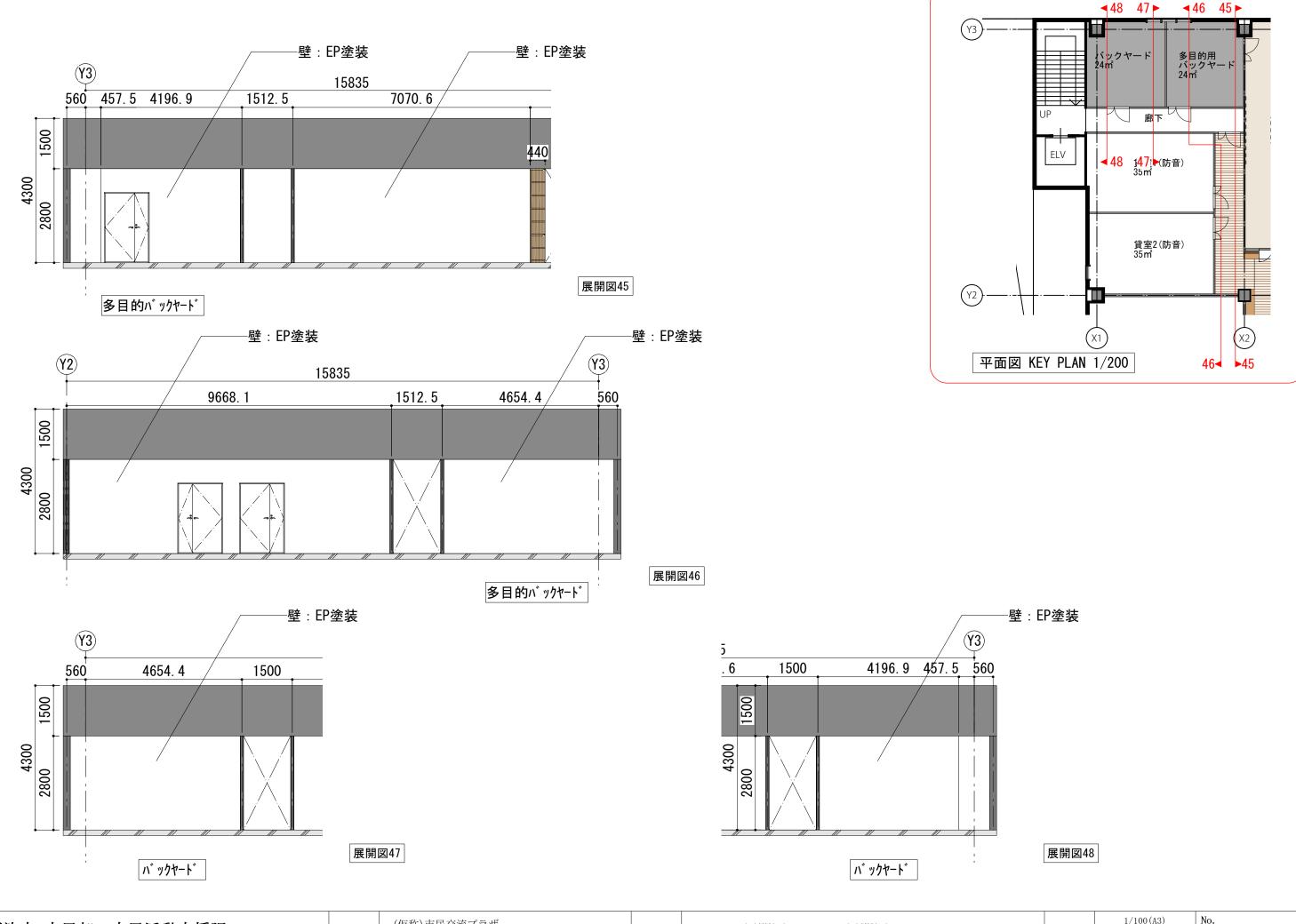
3F 展開図

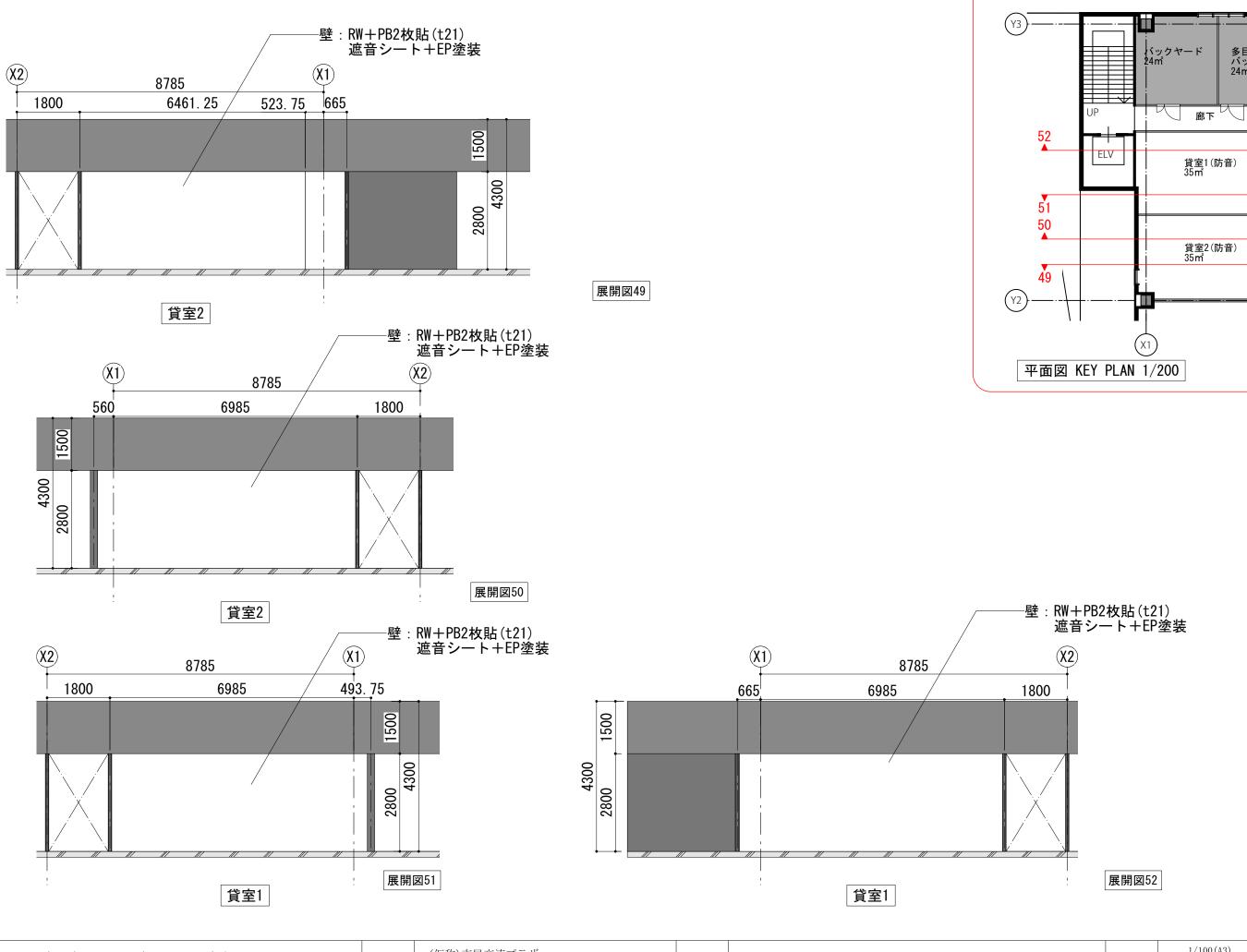
展開図16

縮尺 1/100 (A3) 2023/03/31

F-16

No.





多目的用 バックヤード 24㎡

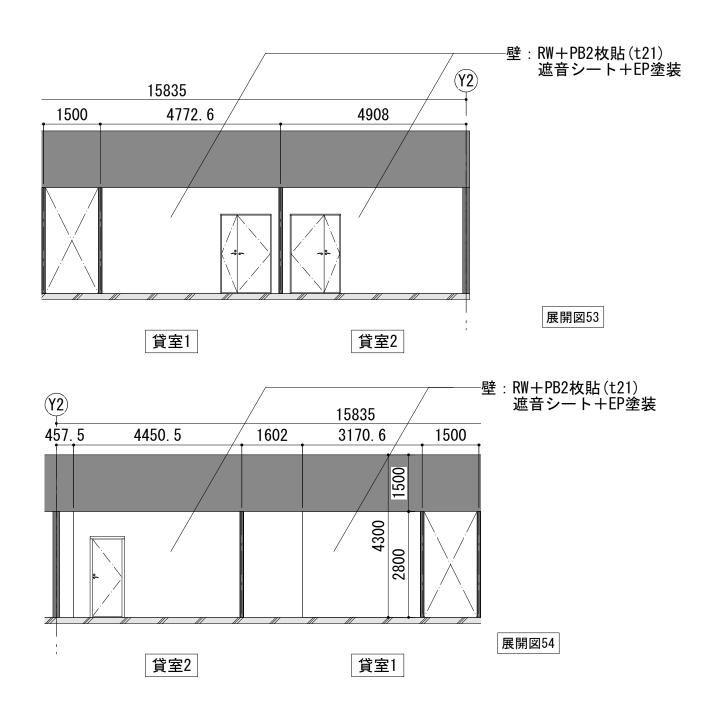
52

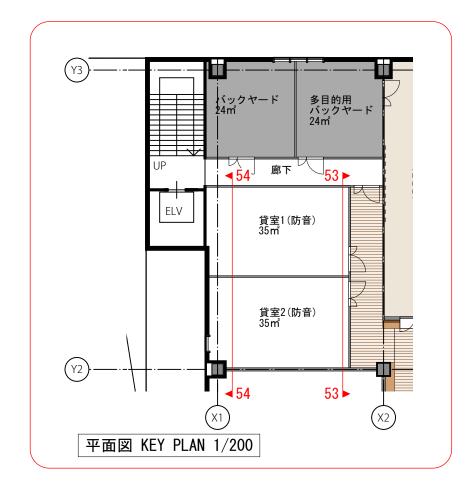
51

50

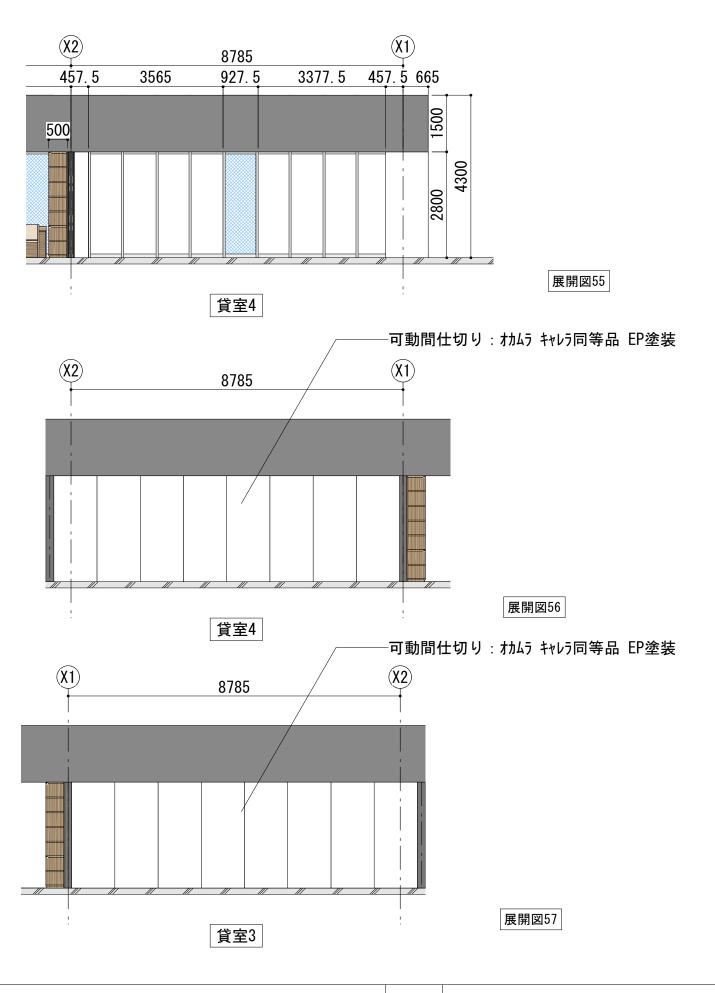
49

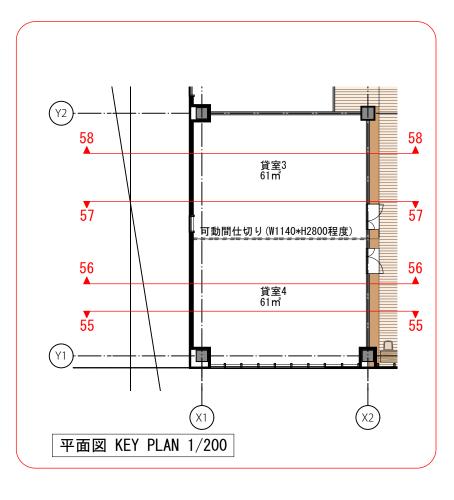
(X2)

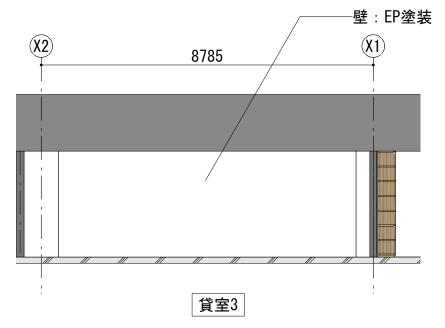




No.







展開図58

